

教員活動報告（2024 年 1 月～12 月）

武田 雅俊（学長）

■誌上発表

- Masataka Kikuchi, Akinori Miyashita, Norikazu Hara, et al. : Polygenic effects on the risk of Alzheimer's disease in the Japanese population. *Alzheimer's Research & Therapy*, 16:No.45, 2024. <https://doi.org/10.1186/s13195-024-01414-x>.
- Masatoshi Takeda, Andi J. : Tanra becomes President-elect of AFPA, *Bull of AFPA Winter*, 11(1):3, 2024.
- Masatoshi Takeda, Kumi Kinoshita, Akihiro Kaminoh, Takako Mizuno, Tatsuhiko Masuzawa, Yuya Nakagoshi, Keigo Shiraiwa, Maki Takei, Keiko Sakai : Relationship between the number of centenarians and the number of health care workers. *COGNITION & REHABILITATION*, 5(1):28-37.
- Misa Nakamura, Masatoshi Takeda : Assessment of cognitive reserve. *COGNITION & REHABILITATION*, 5(1):88-95.
- Masatoshi Takeda, Masayo Inoue, Ryohei Kono, Keigo Shiraiwa, Kayo Matsuo, Yuya Nakagoshi, Tatsuhiko Masuzawa, Yukito Ueda, Keiko Sakai : Health benefits of laughter and humor - Does simulated laughter have health benefits? *COGNITION & REHABILITATION*, 5(1):96-110.
- Masatoshi Takeda, Kayo Matsuo, Ryota Imai : Editor's note. *COGNITION & REHABILITATION*, 5(1):116, 2024.
- 武田雅俊：人生 50 年と百年人生. *CRRC たより*, No.72, 2024.
- 武田雅俊：認知予備能と認知レジリエンス. *Dementia Japan*, 38:1, 2024.
- 武田雅俊：人生 50 年から人生百年へ. *大阪河崎リハビリテーション大学大学院年報*, 2:16-25, 2024.
- 武田雅俊, 松尾加代：Cognition & Rehabilitation Vol 4 の紹介. *大阪河崎リハビリテーション大学大学院年報*, 2:50-54, 2024.
- 武田雅俊：センテネリアンとサルトジェネシス. *仁明会精神医学研究*, 21(2):41-62, 2024.
- 堺景子, 樽谷精一郎, 中谷結香, 松本康一, 岡村武彦, 米田博, 武田雅俊：新型コロナウイルス感染症流行下における家族介護者のメンタルヘルスと介護負担感について. *老年精神医学雑誌*, 35(2):189-197, 2024.
- 武田雅俊：本学の科研費獲得状況. *CRRC たより*, 8 月号, 2024.
- 武田雅俊, 井上雅代, 河崎美紀, 河崎建人：ユーモアの神経基盤と健康. *仁明会精神医学研究*, 22(1):36-47, 2024.
- 武田雅俊, 井上雅代, 河野良平, 白岩圭悟, 河崎美紀, 河崎建人：笑いの神経基盤と健康. *仁明会精神医学研究*, 22(1):48-61, 2024.
- 武田雅俊：編集後記. *仁明会精神医学研究*, 22(1):105, 2024.

■口頭発表

- Masatoshi Takeda : Multifactorial rehabilitation in Japan, Department of Rehabilitation Medicine. Hasanuddin University, 2024.5.1.
- Masatoshi Takeda : New Intervention to Alzheimer Disease. Lecture at Dali Mental Hospital, Makassar, Indonesia, 2024.5.2
- Masatoshi Takeda : New Approach and Intervention to Alzheimer Disease. Plenary Lecture, Regional Congress of Eastern Indonesia Psychiatry Association, Gammara Hotel, Makassar, Indonesia, 2024.5.3.
- 武田雅俊：健康生成論(salutogenesis)論文紹介. 第 44 回 CRRC セミナー, 大阪河崎リハビリテーション大学, 2024.1.17.
- 武田雅俊：座長「AMED 精神障害分野 評価委員会」. オンライン開催, 2024.3.20.
- 武田雅俊：認知症予防と認知予備力. 第 2 回カワリハシニア講座, 大阪河崎リハビリテーション大学, 2024.3.29.
- 武田雅俊：笑いとユーモア. 仁明会セミナー, 大阪, 2024.6.3.
- 武田雅俊：アルツハイマー病のモノクロナル抗体治療. 第一回水間病院セミナー, 水間病院, 大阪, 2024.6.20.
- 武田雅俊：高齢難治性うつ病の対応と抗うつ剤増強療法. 仁明会セミナー, 一般財団法人仁明会 仁明会病院, 大阪, 2024.7.1.
- 武田雅俊：高齢者の治療抵抗性うつ病. 第二回水間病院セミナー, 水間病院, 大阪, 2024.7.18.
- 武田雅俊：第 37 回老年期認知症研究会 座長, 都市センターホテル, 東京, 2024.7.27.
- 武田雅俊：不眠症の対応. 仁明会セミナー, 大阪, 2024.8.26.
- 武田雅俊：加藤進昌先生特別講演座長. 第 11 回成人発達障害支援学会, 大阪国際交流センター, 大阪, 2024.9.8.
- 武田雅俊：NEJM Case24-2024 産後強迫性障害. 仁明会セミナー, 一般財団法人仁明会 仁明会病院, 2024.9.9.
- 武田雅俊：産後強迫性障害の 30 歳女性症例. 第三回水間病院セミナー, 水間病院, 大阪, 2024.9.26.
- 武田雅俊：アルツハイマー病の XWAS. CRRC セミナー, 大阪河崎リハビリテーション大学, 大阪, 2024.9.25.
- 武田雅俊：レケンビによるアルツハイマー病治療の連携シンポジウム 座長. 医誠会国際総合病院, 大阪, 2024.10.3.
- 武田雅俊：PTSD の神経生物学. 仁明会セミナー, 一般財団法人仁明会 仁明会病院, 大阪, 2024.10.7.

- 武田雅俊：悪性症候群を含む抗精神病薬の副作用．第四回水間病院セミナー，水間病院，大阪，2024.10.24.
- 武田雅俊：認知症研究の歩みと展望 - 本研究会 25 回を振り返って．第 25 回近畿老年期認知症研究会，TKP ガーデンシティ，大阪，2024.10.26.
- 武田雅俊：悪性症候群とカタトニア．仁明会セミナー，一般財団法人仁明会 仁明会病院，大阪，2024.11.18.
- 武田雅俊：都道府県ごとのセンテネリアンと医療従事者．CRRC セミナー，大阪河崎リハビリテーション大学，大阪，2024.11.20.
- 武田雅俊：抗精神病薬の歴史と使い方．第五回水間病院セミナー，水間病院，大阪，2024.11.21.
- 武田雅俊：先進医学研究発表会内田裕之教授講演 座長．プリンスさくらタワー，東京，2024.12.6.
- 武田雅俊：パーキンソン病．仁明会セミナー，一般財団法人仁明会 仁明会病院，大阪，2024.12.9.
- 武田雅俊：パーキンソン病．第六回水間病院セミナー，水間病院，大阪，2024.12.26.

大嶋 伸雄 (学科長)

■誌上発表

- 大嶋伸雄：社会作業療法の視点．pp.132-144. 塩津裕康 監修，大嶋伸雄・都竹淳也・都竹信也・青木陽子・山口清明・奥津光佳 編著：すべての小中学校に「学校作業療法室」飛騨市の挑戦が未来を照らす，クリエイツかもがわ，京都，166 頁，2024.
- 大嶋伸雄：作業療法からみた認知症予防．pp.60-66. 古和久朋 監修：健達ねっとで 1 億回読まれている 認知症がわかるコラム，GAKKEN，東京，160 頁，2024.
- 田島美幸，藤澤大介，田村法子，近藤裕美子，原祐子，大嶋伸雄，岡島美朗，岡田佳詠，菊地俊暁，耕野敏樹，佐藤泰憲，高橋章郎，中川敦夫，中島美鈴，吉永尚紀，大野裕：精神科医療機関における集団精神療法の実施状況に関する全国調査．精神療法，50(4):563-571, 2024.
- 川田佳央，大嶋伸雄，宮本礼子：脳卒中後の抑うつ状態と自己効力感および ADL 自己評価との関連性ならびに継続的変化．認知療法研究，17(1):113-122, 2024.
- 大嶋伸雄：2023 年度 大阪河崎リハビリテーション大学における 新たな国際交流戦略の展開について．大阪河崎リハビリテーション大学紀要，18:3-11, 2024.
- 大嶋伸雄，高橋章郎，芳賀大輔，松田壮史，大久保亮：会社員のうつ予防とリワーク・就労支援に必要な認知行動療法の活用：多職種連携で行う対象者の行動変容と健康行動の促進．日本認知療法・認知行動療法学会学会誌 認知療法研究，17(1):21-28, 2024.

■口頭発表

- Hiroataka Imoto, Nobuo Ohshima: A case study of occupational therapy practice in the acute phase using MTDLP for the patient who hopes cooking. 第 8 回アジア太平洋作業療法学会，札幌コンベンションセンター，北海道，2024.11.6-9.
- 大嶋伸雄：Social Occupational Therapy とは何か？．IPW 研究会・総合研究大会 2024，オンライン開催，2024.3.2.
- 大嶋伸雄：作業療法カウンセリングを用いたリスクコミュニケーション．第 1 回 作業療法と生活リスクコミュニケーション学術大会，森ノ宮医療大学 講堂，大阪，2024.3.17.
- 大嶋伸雄：慢性疼痛の機序と患者心理．第 23 回 釧路神経科学学会，釧路プリンスホテル，北海道，2024.7.6.
- 根本友見，岡田佳詠，藤澤大介，天野敏江，中島美鈴，高橋章郎，岡島美朗，田村法子，大嶋伸雄，吉永尚紀，丹野義彦：集団認知行動療法実践者養成プログラムの効果検討 - 6 ヶ月後のデータ分析から -．第 24 回日本認知療法・認知行動療法学会，九州大学医学部百年講堂，福岡，2024.7.19-20.
- 大嶋伸雄：Social Occupational Therapy 社会作業療法士協会の誕生！ 第 5 回飛騨フォーラム，飛騨市文化交流センター，岐阜，2024.12.1.

■社会活動，その他

- リハビリテーション専門職のための IPC(多職種連携実践)と IPE(多職種連携教育)について．近畿リハビリテーション学校協議会・主催研修会，2024.3.7.
- 認知行動療法によるリハビリテーション技術(1)(2)．公益財団法人淀川勤労者厚生協会附属西淀病院，2024.3.8, 4.25.
- 「学校に作業療法室を…」～飛騨市ではじまった新たな教育支援を学ぶ～．子ども療育支援室 2023 年度 WEB 公開講座，2024.3.9.
- 薬剤師とリハビリテーション．慶應義塾大学 薬学部，2024.3.14.
- IPW 特論．聖隷クリストファー大学大学院，2024.6.22, 6.29.
- 社会作業療法．飛騨市役所共催・NPO 法人はびりす「作業療法はみんなのもののセミナー 2」，2024.9.7.

認知行動療法研修会(1)(2). 大阪府西区役所主催・障害支援相談員研修会, 2024.10.18, 11.20.
ピアサポートグループと多職種連携チームが育む金沢の子育て支援. NPO 法人・にじのわ主催研修会, 2024.12.8.
もし勤務中に大震災が発生したらどうしますか? あなたの病院で起こることへの対処方法. 医療法人 吉栄会, 2024.12.12.
認知作業療法の技法(基礎). 東京都立大学 健康福祉学部 作業療法学科 3 年次生, 2024.5.1.
「Advanced Occupational Therapy」Social Occupational Therapy. 東京都立大学 大学院人間健康科学研究科, 2024.7.5.
「臨床医療福祉連携システム特論」Interprofessional Education. 東京都立大学 大学院人間健康科学研究科, 2024.10.28.
大嶋伸雄, 鈴木孝治: 高次脳機能障害者に対する認知行動療法を用いた行動変容アプローチの開発. 科学研究費 基盤研究(C), 4,155,000 円, 2023-2025.
大嶋伸雄, 鈴木孝治 他(認知作業療法研究会): 「作業療法的視点から関わる農福連携の現状と専門的な知識・技術教育の必要性の調査」. みずほ財団 研究助成, 810,000 円, 2025-2027.

<理学療法学専攻>

阿部 真二

■社会活動, その他

阿部真二, 古井透: 「歩くを学ぶ 3」. 阪南ノルディックウオークいきいき会 スキルアップ講習会・指導者研修会, 阪南地域交流館体育施設, 2024.4.7.
阿部真二, 古井透: 「歩くを学ぶ 4」. 阪南ノルディックウオークいきいき会 スキルアップ講習会・指導者研修会, 阪南地域交流館体育施設, 2024.12.15.
第 37 回教育研究大会・教員研修会. 広島大学霞キャンパス, 広島, 2024.8.30-31.
第 40 回日本義肢装具学会学術大会. 電気共創館, 福岡, 2024.11.9-10.

今井 亮太

■誌上発表

Takanori Taniguchi, So Tanaka, Tomohiko Nishigami, Ryota Imai, Akira Mibu, Takaaki Yoshimoto: Relationship between Fear-Avoidance Beliefs and Muscle Co-Contraction in People with Knee Osteoarthritis. *Sensors (Basel)*, 24(16):5137, 2024.
Ryota Imai, So Tanaka, Takanari Kubo, Mitsumasa Hida, Hidetoshi Nakao, Masakazu Imaoka, Tomohiko Nishigami: Differences in self-reported signs related to central sensitization and pressure pain threshold related to knee osteoarthritis and sarcopenia. *European Geriatric Medicine*, doi: 10.1007/s41999-024-01018-6, Epub ahead of print. PMID: 39012448.
Akira Mibu, Masahiro Manfuku, Tomohiko Nishigami, Hirofumi Yamashita, Ryota Imai, Hiroe Kanamori, Kazuhiro Sumiyoshi: Association of Aromatase Inhibitor-Induced Musculoskeletal Symptoms with Central Sensitization-Related Symptoms: A Cross-Sectional Study. *Breast Care*, 18:1-8, <https://doi.org/10.1159/000539867>, 2024.
Misa Nakamura, Masakazu Imaoka, Keiko Sakai, Takanari Kubo, Ryota Imai, Mitsumasa Hida, Fumie Tazaki, Junya Orui, Takao Inoue, Masatoshi Takeda: Complement component C3 is associated with body composition parameters and sarcopenia in community-dwelling older adults: a cross-sectional study in Japan. *BMC Geriatr*, 24(1):102, 2024.
Michihiro Osumi, Masahiko Sumitani, Katsuyuki Iwatsuki, Minoru Hoshiyama, Ryota Imai, Shu Morioka, Hitoshi Hirata: Resting-state Electroencephalography Microstates Correlate with Pain Intensity in Patients with Complex Regional Pain Syndrome. *Clinical EEG and Neuroscience*, 55(1):121-129, 2024.
今井亮太: Virtual Reality を用いた理学療法の可能性. *理学療法学*, 51(5):162-167, 2024.
壬生彰, 田中創, 濱滯, 大社吉晃, 山城由季, 村上剛史, 今井亮太, 西上智彦, 川村博文: 人工膝関節全置換術 1 ヶ月後における滑膜炎と疼痛の関連性 - 超音波 Power Doppler を用いた滑膜炎の定量化. *物理療法学*, 31(1):66-73, 2024.
今井亮太, 藤井廉: 臨床評価における定量的データの収集と解釈の進め方. *疼痛のデータ収集と解釈の進め方. 理学療法*, 41(3):267-277, 2024.

■口頭発表

今井亮太, 石垣智也: 高齢者のペットボトルの蓋の開封動作に関連する運動機能の検討. 第 3 回日本老年療法学会学術集会, 札幌医科大学, 北海道, 2024.8.

今井亮太, 田中創, 壬生彰, 久保峰鳴, 米元佑太, 廻角侑弥, 西上智彦, 藤井唯誌: 術後遷延性疼痛の予後予測モデルの検討. 第12回日本運動器理学療法学術大会, バシフィコ横浜, 神奈川, 2024.9.

今井亮太, 田中創, 壬生彰, 久保峰鳴, 廻角侑弥, 西上智彦, 藤井唯誌: 術後遷延性疼痛のVAS積分値を用いたROM解析モデルの検討. 第46回日本疼痛学会, TOC 有明コンベンションホール, 東京, 2024.11.

■社会活動, その他

京都大学 非常勤講師.

河崎会看護専門学校 非常勤講師.

特別講演. 今井亮太: 疼痛に対する新たな評価・治療方法を共創する. 第27回宮城県理学療法学術大会, 宮城, 2024.2.

教育講演. 今井亮太: 学術活動の魅力とこれまでの歩み. 第63回近畿理学療法学術大会, 2024.2.

特別講演. 今井亮太: 運動器疼痛研究の知と臨床実践の活用. 第37回和歌山県理学療法学術大会, 2024.7.

今井亮太: 運動器疼痛の評価と理学療法. 大阪府理学療法士会生涯学習センター, 認定理学療法士臨床認定カリキュラム, 2024.9.

今井亮太: 運動器疼痛の評価と理学療法. 藍野大学, 認定理学療法士臨床認定カリキュラム, 2024.10.

第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会 最優秀賞.

人工膝関節全置換術に対する Pain neuroscience education は術後急性痛の軽減と遷延性術後痛の予防に有効である ~傾向スコアマッチング法を用いた検証~, 日本ペインリハビリテーション学会

今井亮太: 慢性疼痛に対するペインマネジメント. 喜馬病院.

今井亮太: 痛みの基礎, 慢性化メカニズム. ちゅうざん病院.

大阪商業大学男子バレーボール部 パフォーマンス評価, トレーニング指導, リーグ戦帯同.

日本運動器理学療法学会 サテライトカンファレンス運営 座長.

第12回日本運動器理学療法学会 シンポジウム座長.

第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会 教育講演座長.

日本運動器理学療法学会 理事.

日本ペインリハビリテーション学会 理事.

大阪生涯学習センター 編集委員.

大阪商業大学男子バレーボール部 コーチ.

西上智彦(代表), 壬生彰, 山田恵子, 今井亮太: プレシジョンリハビリテーションの開発ー人工膝関節置換術後の術後慢性疼痛への有効性ー. 科学研究費 基盤研究(B), 2024.4.1-2028.3.31.

今井亮太: 慢性足関節症の発症リスクが判定可能なシステム開発. 科学研究費 若手研究, 2024.4.1-2027.3.31.

今井亮太: 地域在住高齢者の手指機能評価の開発と新たなリハビリテーションの構築. 大阪ガスグループ福祉財団.

今岡 真和

■誌上发表

今岡真和: 第10章 訪問リハビリテーションでの症例への向き合い方. pp.134-144. 上杉雅之 監修, 木下めぐみ, 篠原博 編集: 動画でイメージ理学療法はじめての臨床実習, 三輪書店, 東京, 192頁, 2024.

今岡真和: 第4節 生活期リハビリテーション. pp.170-188. 上杉雅之 監修, 西守隆 編集: 『WEB 動画も活用してスッキリ整理! 理学療法のプロセスと臨床推論』, 金芳堂, 京都, 195頁, 2024.

今岡真和: 第1章 日常生活活動の評価. pp.54-64. 市橋則明 監修, 池添冬芽・他 編集: 図解 理学療法技術ガイド 第5版, 文光堂, 東京, 1016頁, 2024.

Misa Nakamura, Masakazu Imaoka, Keiko Sakai, Takanari Kubo, Ryota Imai, Mitsumasa Hida, Fumie Tazaki, Junya Orui, Takao Inoue, Masatoshi Takeda: Complement component C3 is associated with body composition parameters and sarcopenia in community-dwelling older adults: a cross-sectional study in Japan. BMC Geriatrics, 24:102, 2024.

Ryota Imai, So Tanaka, Takanori Kubo, Mitsumasa Hida, Hidetoshi Nakao, Maasakazu Imaoka, Tomohiko Nishigami: Differences in self-reported signs related to central sensitization and pressure pain threshold related to knee osteoarthritis and sarcopenia. European Geriatric Medicine, 15:1449-1459, 2024. DOI: 10.1007/s41999-024-01018-6.

Wataru Ichinose, Masakazu Imaoka, Misa Nakamura, Keiko Sakai, Fumie Tazaki, Takanari Kubo, Tatsunori Murakami, Shotaro Takamatsu: Factors associated with physical frailty in community-dwelling older people. COGNITION & REHABILITATION, 5(1):63-69, 2024.

Shotaro Takamatsu, Masakazu Imaoka, Misa Nakamura, Keiko Sakai, Fumie Tazaki, Tatsunori Murakami, Wataru Ichinose : The effect of sarcopenia on cognitive function in community-dwelling older people. COGNITION & REHABILITATION, 5(1):70-79, 2024.

Ryota Hatanaka, Yumi Higuchi, Masakazu Imaoka : Improving Motor Skills in Five Children With Developmental Coordination Disorder Traits and Its Impact on Parenting Stress: A Case Series. Cureus, 16(6):e61691, 2024.

中尾英俊, 今岡真和 : マンチェスタースケールを用いた外反母趾のグレード分類と外反母趾変形に対する自己認識との関連性. 城西国際大学紀要, 2024.

松本凱貴, 今岡真和, 伊藤里紗, 近藤颯人, 西居壱真, 一ノ瀬航, 高松昌太郎, 久保峰鳴, 村上達典, 田崎史江, 中村美砂 : 地域在住高齢者のプレフレイル有症と食欲との関連性について. 理学療法学, 2024.

西居壱真, 伊藤里紗, 松本凱貴, 近藤颯人, 久保峰鳴, 村上達典, 田崎史江, 中村美砂, 今岡真和 : 地域在住者の睡眠障害と身体機能・精神心理機能の関連性について. 理学療法科学, 2024.

■口頭発表

Yoshiki Matsumoto, Masakazu Imaoka, Wataru Ichinose, Shotaro Takamatsu, Risa Ito, Hayato Kondo, Kazuma Nishii, Takanari Kubo, Fumie Tazaki, Tatsunori Murakami, Misa Nakamura : The relationship between community-dwelling elderly individuals with pre-frailty and appetite. WORLD CONGRESS ON OSTEOPOROSIS, OSTEOARTHRITIS AND MUSCULOSKELETAL DISEASES2024, London, 2024.4.11-14.

Masakazu Imaoka, Fumie Tazaki, Mitsumasa Hida, Wataru Ichinose, Shotaro Takamatsu, Keiko Sakai, Misa Nakamura : The relevance of segmental body composition in fragility fracture patients among community dwelling elderly. WORLD CONGRESS ON OSTEOPOROSIS, OSTEOARTHRITIS AND MUSCULOSKELETAL DISEASES2024, London, 2024.4.11-14.

伊藤里紗, 近藤颯人, 西居壱真, 松本凱貴, 一ノ瀬航, 高松昌太郎, 中村美砂, 今岡真和 : 地域在住高齢者における運動習慣と ICT 利活用の関連について. 第 66 回日本老年医学会学術集会, 愛知, 2024.6.13-15.

西居壱真, 中村美砂, 一ノ瀬航, 高松昌太郎, 近藤颯人, 伊藤里紗, 松本凱貴, 久保峰鳴, 村上達典, 田崎史江, 今岡真和 : 地域在住高齢者の生活空間狭小化の要因について. 第 66 回日本老年医学会学術集会, 愛知, 2024.6.13-15.

西居壱真, 伊藤里紗, 松本凱貴, 近藤颯人, 久保峰鳴, 村上達典, 田崎史江, 中村美砂, 今岡真和 : 地域在住高齢者の生活空間狭小化と関係する因子について. 第 3 回日本老年療法学会, 北海道, 2024.8.3.

嶋野広一, 今岡真和, 久保峰鳴, 田崎史江, 中村美砂 : つげさんアタマとカラダをのヘルスチェックの紹介と参加者の主観的健康感. 第 8 回日本作業療法研究学会, 長崎, 2024.8.30-31.

村上達典, 中村美砂, 今岡真和, 久保峰鳴, 佐伯純弥, 青木健太, 大木雅隆 : 地域在住高齢者の呼吸サルコペニア・全身性サルコペニアと口腔機能の関係. 第 10 回日本呼吸理学療法学会学術大会, 新潟, 2024.9.7-8.

中村美砂, 今岡真和, 田崎史江, 肥田光正, 今井亮太, 久保峰鳴, 堺景子, 武田雅俊 : 正常認知機能から軽度認知障害における血中トランスサイレチンレベルの推移について. 第 13 回日本認知症予防学会, 横浜, 2024.9.27-29.

伊藤里紗, 近藤颯人, 西居壱真, 松本凱貴, 久保峰鳴, 村上達典, 中村美砂, 今岡真和 : 地域在住高齢者における身体的プレフレイルとオンラインツール使用数の関連について. 第 26 回日本骨粗鬆症学会, 石川, 2024.10.11.

今岡真和, 伊藤里紗, 西居壱真, 近藤颯人, 松本凱貴, 一ノ瀬航, 高松昌太郎, 田崎史江, 久保峰鳴, 村上達典, 嶋野広一, 中村美砂, 堺景子 : 地域在住女性高齢骨粗鬆症患者に対するアフターコロナの影響について. 第 26 回日本骨粗鬆症学会, 石川, 2024.10.11-13.

松本凱貴, 田中雅博, 中原優, 今岡真和 : 回復期リハビリテーション病棟へ入棟した脊椎椎体骨折患者において、保存療法と BKP がもたらす影響について. 第 26 回日本骨粗鬆症学会, 石川, 2024.10.13.

今岡真和, 肥田光正, 岡原聡, 吉野由里子, 藤田昇, 永井琴子, 関口卓也 : 就業者への運動機能計測に基づく行動変容アプローチがプレゼンティーズムに及ぼす影響 (UMIN : 000051019). 第 7 回日本産業理学療法研究会, オンライン開催, 2024.10.26.

中村美砂, 堺景子, 久保峰鳴, 肥田光正, 田崎史江, 今井亮太, 峰久京子, 今岡真和 : 地域高齢者のサルコペニアと血中補体 C3 との関係について. 第 11 回日本サルコペニア・フレイル学会大会, 東京, 2024.11.2.

近藤颯人, 今岡真和, 玉村悠介, 吉川創, 勝田有梨, 桑原朋之, 松浦道子, 錦見俊雄 : 回復期リハビリテーション病棟に入院した脳血管疾患患者の転帰先に影響する因子の検討. 第 8 回日本リハビリテーション医学会 秋季学術集会, 岡山, 2024.11.3.

今岡真和, 肥田光正, 中村美砂, 堺景子, 安在絵美, 市瀬嵩志, 橘伸彦, 程彦, 長谷川芳則 : 地域在住高齢者に対する運

動とタンパク質摂取による身体的プレフレイル改善効果の検証：ランダム化比較試験. 第11回日本予防理学療法学会, 宮城, 2024.11.9.

村上達典, 今岡真和, 中村美砂, 久保峰鳴, 一ノ瀬航, 高松昌太郎, 伊藤里紗, 近藤颯人, 西居竜真, 松本凱貴: 地域在住高齢者における身体的フレイルと客観的睡眠評価・主観的睡眠評価の関係. 第11回日本予防理学療法学会学術大会, 宮城, 2024.11.9-10.

■社会活動, その他

元気にフレイル予防!! 動いてよく寝て. 大阪府看護協会地域公開講座, 2024.2.14.

地域在住高齢者におけるフレイル・サルコペニアの最近の動向について. 田辺市・西牟婁郡・日高医師会学術講演会/田辺三菱製薬株式会社, 2024.7.6.

臨床でフレイル・サルコペニアから改善させる介入戦略について. 大阪府理学療法士会, 2024.6.16

産官学連携による骨粗鬆症予防の取組概要、成果と課題. 第26回日本骨粗鬆症学会 OLS, 2024.10.11

転倒予防のための運動のすすめ. 第26回日本骨粗鬆症学会スキルアップセミナー, 2024.10.12.

国保世代からのフレイル予防について. 滋賀県国民健康保険団体連合会, 2024.10.25

フレイル予防の重要性や取り組みのポイント. 大阪府堺市健康推進課, 2024.11.8.

研究への第一歩～研究の成り立ちを垣間見る～. 第11日本予防理学療法学会学術大会, 2024.11.9.

超高齢社会をいつまでも元気に過ごそう. 市民公開講座, 2024.11.26.

第4回大阪府理学療法士会南支部新人症例発表大会 実行委員長. 2024.1.21.

第26回日本骨粗鬆症学会 医師・メディカルスタッフ連携プログラム委員. 2023.10-2024.11.

J:COM りんくう LIVE ニュース. 2024.3.7.

フレイル研究成果公開事業 研究室訪問 今岡研究室. 日本予防理学療法学会, 2023.7.10- 現在.

今岡真和(代表): 就業高齢者を包含したICT活用によるプレフレイル改善プログラムの開発. 科学研究費 若手研究, 5,980,000 円, 2023-2024.

今岡真和(分担): 小中学生の運動器の構造・機能的評価と効果的な運動介入の検討. 科学研究費 基盤研究(C), 4,290,000 円, 2023-2025.

今岡真和(分担): 医工連携による地域で利用しやすい姿勢および関節アライメント測定プログラムの開発. 科学研究費 基盤研究(C), 3,770,000 円, 2022-2025.

今岡真和(代表): 就業者の反復的な運動機能計測がプレゼンティーズム改善に影響を与えるかの前向き調査. 受託研究 不二製油株式会社, 800,000 円, 2024.

今岡真和(代表): つげさんフレイル・ロコモ・認知症予防プロジェクト. 貝塚市, 800,000 円, 2024.

今岡真和(代表): 就業者の反復的な運動機能計測がプレゼンティーズム改善に影響を与えるかの前向き調査. 受託研究 ANA 関西空港株式会社, 880,000 円, 2024-2025.

今岡真和(代表): 地域在住身体的プレフレイル高齢者に対する運動と大豆ペプチド摂取による身体的フレイル改善効果の検証: ランダム化比較試験. 不二製油グループ本社株式会社・不二製油株式会社共同研究, 2,500,000 円, 2024-2025.

第26回日本骨粗鬆症学会 OLS スキルアップセミナー 座長. 2024.10.12.

第26回日本骨粗鬆症学会 常設展示 OLS 座長. 2024.10.11.

貝塚市理学療法士会 会長. 2018.10.10- 現在.

貝塚市介護認定審査会 委員. 2019.4.1- 現在.

社会福祉活動支援地域協議会委員 委員. 2021.4.1- 現在.

貝塚市スマートシティ推進委員会介護予防ワーキンググループ委員 委員. 2022.10.1- 現在.

大阪府生活課題アセスメント訪問指導者 指導者. 2022.3.28- 現在.

第26回日本骨粗鬆症学会骨粗鬆症マネージャープログラム委員会 委員. 2022.12.1- 現在.

論文査読. Progress in Rehabilitation Medicine, 2024.3.25.

論文査読. BMC Geriatrics Peer Review, 2024.2.28.

論文査読. 第63回近畿理学療法学会学術大会, 2024.2.15.

論文査読. 日本地域理学療法学会学術大会, 2024.1.20.

論文査読. 第10回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会, 2024.4.5.

論文査読. Aging Clinical and Experimental Research, 2024.4.30.

論文査読. 第11回日本予防理学療法学会学術大会, 2024.6.18.

論文査読. 第 11 回日本地域理学療法学会学術大会, 2024.7.15.
論文査読. 第 10 回日本精神・心理領域理学療法研究会学術大会, 2024.9.18.
論文査読. 総合理学療法学会, 2024.9.19.
アジア健康長寿イノベーション賞日本国内優秀事例(代表). The Asia Health and Wellbeing Initiative, 2024.10.1.
日本クリケット協会審判講習会会場運営. 大阪河崎リハビリテーション大学グラウンド, 2024.3.2.
クリケット体験会. 大阪河崎リハビリテーション大学体育館, 2024.4.2.
クリケットブラストシリーズ. 大阪河崎リハビリテーション大学グラウンド, 2024.6.
ストレッチング研修会. 不二製油株式会社, 2024.8.8.
フレイル予防講和. 貝塚市麻生中町会館, 2024.10.3.
ジャパンカップ(クリケット). 貝塚市ドローン・クリケットフィールド, 2024.10.5.
ストレッチング研修会. 関西空港北ビル(ANA 関西空港株式会社), 2024.10.10.
ランニングパトロール. 貝塚警察, 2024.10.17.
かいづか博覧会. 貝塚市二色の浜公園, 2024.10.19.
クリケットブラストシリーズ. 大阪河崎リハビリテーション大学グラウンド, 2024.9.16, 9.23, 11.2.

大 竜 友 博

■誌上発表

Shoma Ue, Kakeru Nakahama, Junpei Hayashi, Tomohiro Ohgomori : Cortical activity associated with the recovery of balance during unstable stances. PeerJ, 12:e17313, 2024.
Tomohiro Ohgomori : Effects of forearm position on the range of motion in radio-ulnar deviation of the wrist joint. COGNITION & REHABILITATION, 5(1):2-8, 2024.

■口頭発表

Tomohiro Ohgomori : Changes in cortical activity associated with suppression of frontal midline theta rhythm caused by attentional shift. Neuro2024, Fukuoka, Japan, 2024.7.24-27.
大竜友博 : 注意対象の切り替えに関わる神経回路基盤. 第 129 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 那覇文化芸術劇場なはーと・ホテルコレクティブ, 沖縄, 2024.3.21-23.

■社会活動, その他

包括的神経グリア研究会 代表. 2020 年 - 現在.
大竜友博(代表) : 感覚情報の変化に適応して運動を調節する神経回路基盤と非侵襲脳刺激を用いたその統御. 科学研究費基盤研究(C), 1,040,000 円, 2023 年度 -2026 年度.
芦塚あおい(代表), 武田雅俊, 大竜友博 : 高齢者における呼吸リハビリテーションがもたらす呼吸と嚥下の協調性変化の解明. 科学研究費 基盤研究(C), 100,000 円, 2023 年度.

岡 健 司

■誌上発表

Kenji Oka : Comparison of erector spinae muscle activity and center of body mass variability between forward and backward walking. COGNITION & REHABILITATION, 5(1):18-27, 2024.

■口頭発表

岡健司, 後藤遼佑, 中野良彦 : 時間周波数解析を用いたシロテテナガザル脊柱起立筋活動のロコモーション間比較. 第 78 回日本人類学会大会, 梅田スカイビル, 大阪, 2024.10.12-14.
峰久京子, 岡健司, 野村和樹, 中村美砂 : コロナ禍とポストコロナ期における医療系大学生の体組成と運動機能の比較検討. 第 11 回日本サルコペニア・フレイル学会大会, 都市センターホテル, 東京, 2024.11.2-3.
久利彩子, 中川竜之介, 岡健司, 有末伊織, 米田正明, 武井健一, 中田典生 : 起立着座・歩行における姿勢推定 AI 収集座標と動作解析システム収集座標との相互相関関数ラグ 0 時点の値を用いた関連性評価. 第 45 回バイオメカニズム学術講演会, 電気通信大学, 東京, 2024.12.7-8.

■社会活動, その他

人間科学特殊講義 B. 近畿大学総合社会学部(非常勤講師), 2024.9-2025.2.
第 78 回日本人類学会大会 実行委員. 2024 年度.

厚生労働省指定 大阪府理学療法士会共催 第1276回臨床実習指導者講習会 運営委員. 2024年度.

峰久京子(代表), 中村美砂, 野村和樹, 岡健司, 今岡真和, 松尾加代: 小中学生の運動器の構造・機能的評価と効果的な運動介入の検討. 科学研究費 基盤研究(C), 2023年度-2025年度.

久保 峰鳴

■誌上発表

久保峰鳴: 第4章義肢装具・補助具 靴型装具・インソール. pp.339-342. 市橋則明, 池添冬芽, 久保田雅史, 建内宏重, 中野治郎, 宮本俊郎: 図解理学療法技術ガイド 第5版, 文光堂, 東京, 1016頁, 2024.

Utae Katsushima, Kimitaka Hase, Takuya Fukushima, Takanari Kubo, Jiro Nakano, Naoya Ogushi, Yukiko Okuno, Keisuke Kamisako, Kentaro Nakanishi, Yuta Okazaki, Tatsuki Ikoma, Yuki Takeyasu, Yuta Yamanaka, Hiroshige Yoshioka, Yoshie Imai, Takayasu Kurata: Investigation of a practical assessment index to capture the clinical presentation of cachexia in patients with lung cancer. Japanese journal of clinical oncology, 54(3):305-311, 2024.

Misa Nakamura, Masakazu Imaoka, Keiko Sakai, Takanari Kubo, Ryota Imai, Mitsumasa Hida, Fumie Tazaki, Junya Orui, Takao Inoue, Masatoshi Takeda: Complement component C3 is associated with body composition parameters and sarcopenia in community-dwelling older adults: a cross-sectional study in Japan. BMC geriatrics, 24:102, 2024.

Yuta Chujo, Kimihiko Mori, Masanori Wakida, Naoto Mano, Takayuki Kuwabara, Hiroaki Tanaka, Takanari Kubo, Kimitaka Hase: Diverse plantarflexor module characteristics influence immediate effects of plastic ankle-foot orthosis on gait performance in patients with stroke: A cross-sectional study. Archives of physical medicine and rehabilitation, 105(7):1322-1329, 2024.

Yuya Mawarikado, Yusuke Inagaki, Tadashi Fujii, Takanari Kubo, Akira Kido, Yasuhito Tanaka: Association between postoperative fall history and toe grip strength in patients after total knee arthroplasty: A prospective observational study. Journal of foot and ankle research, 17(2):e12007, 2024.

Ryota Imai, So Tanaka, Takanari Kubo, Mitsumasa Hida, Hidetoshi Nakao, Masakazu Imaoka, Tomohiko Nishigami: Differences in self-reported signs related to central sensitization and pressure pain threshold related to knee osteoarthritis and sarcopenia. European geriatric medicine, 15(5):1449-1459, 2024.

Yuya Mawarikado, Yusuke Inagaki, Tadashi Fujii, Takanari Kubo, Akira Kido, Yasuhito Tanaka: Toe grip strength training improves gait performance and prevents falls in patients after total knee arthroplasty. The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine, in press, 2024.

Wataru Ichinose, Masakazu Imaoka, Misa Nakamura, Keiko Sakai, Fumie Tazaki, Takanari Kubo, Tatsunori Murakami, Shotaro Takamatsu: Factors associated with physical frailty in community-dwelling older people. COGNITION & REHABILITATION, 5(1):63-69, 2024.

神田泰志, 瀧川瑞季, 千原悦夫, 久保峰鳴: 斜位の有無と歩行時の姿勢制御の関係. Vision, 36(4):141-149, 2024.

■口頭発表

桑原嵩幸, 森公彦, 間野直人, 久保峰鳴, 中條雄太, 長谷公隆: 片麻痺歩行における床反力前方後方成分の特徴の違いが歩行機能に与える影響. 第61回日本リハビリテーション医学会学術集会, セルリアンタワー東急ホテル 他, 東京, 2024.6.13-16.

田中宏明, 森公彦, 脇田正徳, 久保峰鳴, 片山愛望, 長谷公隆: Gait Assessment and Intervention Toolを用いた脳卒中後片麻痺者の異常歩行における非麻痺側下肢の影響. 第61回日本リハビリテーション医学会学術集会, セルリアンタワー東急ホテル 他, 東京, 2024.6.13-16.

久保峰鳴, 田口周, 間野直人, 鈴木良和, 梶本かさね, 長谷公隆: 脳卒中片麻痺患者への足関節ロボットを用いた歩行訓練は推進力とともにそのタイミングを変化させる. 第61回日本リハビリテーション医学会学術集会, セルリアンタワー東急ホテル 他, 東京, 2024.6.13-16.

間野直人, 久保峰鳴, 長谷公隆: Intelligence Amplifierを活用した個別化治療の基盤となる新たな片麻痺歩行特徴の探索. 第61回日本リハビリテーション医学会学術集会, セルリアンタワー東急ホテル 他, 東京, 2024.6.13-16.

久保峰鳴, 小倉久幸, 鈴木良和, 間野直人, 田口周, 長谷公隆: 変形性膝関節症患者に対する新たな膝関節の機械的負荷指標-膝関節内転モーメントの成分解析-. 第8回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 岡山コンベンションセンター 他, 岡山, 2024.6.13-16.

中條雄太, 森公彦, 間野直人, 桑原嵩幸, 片山愛望, 倉本仁, 田中宏明, 久保峰鳴, 脇田正徳, 長谷公隆: 脳卒中後片麻

痺歩行の歩行能力改善に重要な筋 Module. 第 22 回日本神経系理学療法学会学術大会, 福岡国際会議場, 福岡, 2024.9.28-29.

■社会活動, その他

臨床運動学. 奈良リハビリテーション専門学校, 2024.4-5.

理学療法評価学各論演習. 京都橘大学, 2024.6-7.

情報科学 I. 河崎会看護専門学校, 2024.1.

日本スポーツ理学療法学会. 日本スポーツ理学療法学会学会誌 査読委員, 2022.11.1- 現在.

大阪府理学療法士会. 総合理学療法学 査読委員, 2023.11.14- 現在.

大阪府理学療法士会. 総合理学療法学 プレゼンス向上委員会, 2023.11.14- 現在.

日本運動器理学療法学会. 第 13 回日本運動器理学療法学会学術大会 広報委員, 2024.9- 現在.

久保峰鳴: 変形性膝関節症における筋骨格モデル解析と AI 技術を活用した治療アルゴリズムの開発. 科学研究費 研究活動スタート支援, 2,860,000 円, 2022-2024 年度.

久保峰鳴: マーカーレス歩行解析による新たな膝関節への機械的負荷指標の開発. 科学研究費 若手研究, 4,680,000 円, 2024-2026 年度.

桑原嵩幸, 森公彦, 間野直人, 久保峰鳴, 中條雄太, 長谷公隆: 第 61 回日本リハビリテーション医学会学術集会 ポスターセッション 優秀演題賞. 2024.6.

関西医科大学医学部リハビリテーション医学講座 研究員. 2020.2- 現在.

複合野球施設 King of the Hill (K.O.H) 顧問 (バイオメカニクス, スポーツ医学, リハビリテーション医学). 2024.11- 現在.

京都大学医学部附属病院 先端医学研究開発機構 臨床研究推進部 国際連携ユニット 研究員. 2024.12- 現在.

野田智之, 寺前達也, 高橋容子, 川上途行, 春山幸志郎, 奥山航平, 中村拓也, 岡田紘佑, 長谷公隆, 森拓也, 久保峰鳴, 森公彦, 桑原嵩幸, 間野直人: 制御方法、制御装置及び制御プログラム. 特願 2022.8.5, 特開 2024.2.16.

佐伯 純弥

■誌上発表

Zimin Wang, Masashi Taniguchi, Junya Saeki, Masahide Yagi, Norihiko Murota, Kaede Nakazato, Nanami Niiya, Noriaki Ichihashi: Intramuscular fat infiltration influences mechanical properties during muscle contraction in older women. *Applied Physiology, Nutrition, and Metabolism*, 49(9):1175-1183, 2024.

Zimin Wang, Masashi Taniguchi, Junya Saeki, Noriaki Ichihashi: Effects of high-velocity vs. low-velocity resistance training on muscle echo intensity in healthy young women: a randomized controlled trial. *Sports Health: A Multidisciplinary Approach*, Online ahead of print, 2024.

Ryo Otani, Hideo Nishikawa, Junya Saeki, Masatoshi Nakamura: Relationship between the flexion torque of the 1st MTP joint and intrinsic foot muscles depends on the ankle joint position. *Foot & Ankle Orthopaedics*, 9(3), 2024.

Kaede Nakazato, Todd Pataky, Masashi Taniguchi, Junya Saeki, Masahide Yagi, Yoshiki Motomura, Shogo Okada, Sayaka Okada, Yoshihiro Fukumoto, Masashi Kobayashi, Kyoseki Kanemitsu, Noriaki Ichihashi: Center of pressure in relation to foot morphology and knee symptoms in older women with medial knee joint deformity: A cross-sectional study. *Archives of Physical Medicine and Rehabilitation*, Online ahead of print, 2024.

■社会活動, その他

佐伯純弥(代表): 腱組織に対する効果的なトレーニング手法の開発. 科学研究費 若手研究, 3,600,000 円, 2022-2025 年度. 論文査読. *Scientific Reports*, 2024.8-11.

論文査読. *Medicine & Science in Sports & Exercise*, 2024.10.

論文査読. *Journal of Science and Medicine in Sport*, 2024.11.

第 29 回日本基礎理学療法学会学術大会 一般演題 口述 1 座長. 2024.10.

坪田 裕司

■誌上発表

坪田裕司: 進化してきた脳と生成 AI の現在と未来. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要, 18:12-21, 2024.

■社会活動, その他

生理学講義(循環総論, 中枢性循環調節, 3 コマ). 和歌山県立医科大学 医学部, 2024.5.10.

研究会企画立案 プログラム委員 座長. 第71回日本実験動物学会総会, みやこめっせ・ロームシアター京都, 2024.5.29-31.
日本実験動物学会 評議員, 編集委員会 委員.
英文国際誌「Experimental Animals」Editor. 日本実験動物学会.
日本生理学会 評議員.
関西実験動物研究会 評議員, 集会幹事.
日本高等教育評価機構 大学機関別認証評価 評価員. 2023.5.31-2024.3.31.
坪田裕司(分担), 石川明(研究代表者), 名古屋大学農学部: ニワトリ新規ゲノム育種マーカーの開発事業. 公益財団法人全国競馬・畜産振興会畜産振興事業, 49,500,111 円, 2022-2024 年度.

中村 美砂

■誌上発表

Misa Nakamura, Masakazu Imaoka, Keiko Sakai K, Takanari Kubo, Ryota Imai, Mitsumasa Hida, Fumie Tazaki, Junya Orui J, Takao Inoue, Masatoshi Takeda: Complement component: C3 is associated with body composition parameters and sarcopenia in community-dwelling older adults: a cross sectional study. BMC Geriatrics, 24(1):102.2024.
Wataru Ichinose, Masakazu Imaoka, Misa Nakamura, Keiko Sakai, Fumie Tazaki, Takanari Kubo, Tatsunori Murakami, Shotaro Takamatsu: Factors associated with physical frailty in community-dwelling older people. COGNITION & REHABILITATION, 5(1):63-69, 2024.
Shotaro Takamatsu, Masakazu Imaoka, Misa Nakamura, Keiko Sakai, Fumie Tazaki, Tatsunori Murakami, Wataru Ichinose: The effect of sarcopenia on cognitive function in community-dwelling older people. COGNITION & REHABILITATION, 5(1):70-79.
Misa Nakamura, Masatoshi Takeda: Assessment of cognitive reserve. COGNITION & REHABILITATION, 5(1):88-95, 2024.
中村美砂: 第1回河リハ・シニア健康講座の報告. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要, 18:47-49, 2024.

■口頭発表

Yoshiki Matsumoto, Masakazu Imaoka, Wataru Ichinose, Shotaro Takamatsu, Risa Ito, Hayato Kondo, Kazuma Nishii, Takanari Kubo, Fumie Tazaki, Tatsunori Murakami, Misa Nakamura: The relationship between community-dwelling elderly individuals with pre-frailty and appetite. WORLD CONGRESS ON OSTEOPOROSIS, OSTEOARTHRITIS AND MUSCULOSKELETAL DISEASES2024, London, 2024.4.11-14.
Masakazu Imaoka, Fumie Tazaki, Mitsumasa Hida, Wataru Ichinose, Shotaro Takamatsu, Keiko Sakai, Misa Nakamura: The relevance of segmental body composition in fragility fracture patients among community dwelling elderly. WORLD CONGRESS ON OSTEOPOROSIS, OSTEOARTHRITIS AND MUSCULOSKELETAL DISEASES2024, London, 2024.4.11-14.
伊藤里紗, 近藤颯人, 西居壱真, 松本凱貴, 一ノ瀬航, 高松昌太郎, 中村美砂, 今岡真和: 地域在住高齢者における運動習慣とICT利活用の関連について. 第66回日本老年医学会学術集会, ウィンクあいち, 愛知, 2024.6.13-15.
西居壱真, 中村美砂, 一ノ瀬航, 高松昌太郎, 近藤颯人, 伊藤里紗, 松本凱貴, 久保峰鳴, 村上達典, 田崎史江, 今岡真和: 地域在住高齢者の生活空間狭小化の要因について. 第66回日本老年医学会学術集会, ウィンクあいち, 愛知, 2024.6.13-15.
西居壱真, 伊藤里紗, 松本凱貴, 近藤颯人, 久保峰鳴, 村上達典, 田崎史江, 中村美砂, 今岡真和: 地域在住高齢者の生活空間狭小化と関係する因子について. 第3回日本老年療法学会, 札幌医科大学, 北海道, 2024.8.3.
嶋野広一, 今岡真和, 久保峰鳴, 田崎史江, 中村美砂: つげさんアタマとカラダをのヘルスチェックの紹介と参加者の主観的健康感. 第8回日本作業療法研究学会, 長崎大学医学部坂本キャンパス, 長崎, 2024.8.30-31.
村上達典, 中村美砂, 今岡真和, 久保峰鳴, 佐伯純弥, 青木健太, 大木雅隆: 地域在住高齢者の呼吸サルコペニア・全身性サルコペニアと口腔機能の関係. 第10回日本呼吸理学療法学会学術大会, 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター, 新潟, 2024.9.7-8.
中村美砂, 今岡真和, 田崎史江, 肥田光正, 今井亮太, 久保峰鳴, 堺景子, 武田雅俊: 正常認知機能から軽度認知障害における血中トランスサイレチンレベルの推移について. 第13回日本認知症予防学会, パシフィコ横浜, 神奈川, 2024.9.27-29.
今岡真和, 伊藤里紗, 西居壱真, 近藤颯人, 松本凱貴, 一ノ瀬航, 高松昌太郎, 田崎史江, 久保峰鳴, 村上達典, 嶋野広

一、中村美砂、堺景子：地域在住女性高齢骨粗鬆症患者に対するアフターコロナの影響について、第 26 回日本骨粗鬆症学会、金沢市文化ホール 他、石川、2024.10.11-13.

中村美砂、堺景子、久保峰鳴、肥田光正、田崎史江、今井亮太、峰久京子、今岡真和：地域高齢者のサルコペニアと血中補体 C3 との関係について、第 11 回日本サルコペニア・フレイル学会、都市センターホテル、東京、2024.11.2-3.

峰久京子、岡健司、野村和樹、中村美砂：コロナ渦とポストコロナ期における医療大学生の体組成と運動機能の比較検討、第 11 回日本サルコペニア・フレイル学会、都市センターホテル、東京、2024.11.2-3.

村上達典、今岡真和、中村美砂、久保峰鳴、一ノ瀬航、高松昌太郎、伊藤里紗、近藤颯人、西居壱真、松本凱貴：地域在住高齢者における身体的フレイルと客観的睡眠評価・主観的睡眠評価の関係、第 11 回日本予防理学療法学会学術大会、仙台大学船岡キャンパス、宮城、2024.11.9-10.

今岡真和、肥田光正、中村美砂、堺景子、安在絵美、市瀬嵩志、橘伸彦、程彦、長谷川芳則：地域在住高齢者に対する運動とタンパク質摂取による身体的プレフレイル改善効果の検証：ランダム化比較試験、第 11 回日本予防理学療法学会学術大会、仙台大学船岡キャンパス、宮城、2024.11.9-10.

■社会活動、その他

夏のつげさん測定会報告会、貝塚、2024.10.24.

第 6 次貝塚市総合計画策定等支援業務委託事業者選定委員会 委員長、2024.5-6.

日本病理学会 評議委員、

日本内分泌学会 評議委員、

日本内分泌病理学会 評議委員、

日本未病学会 評議委員、

PLOS ONE Editor、

うつのみやレディースクリニック 研究倫理委員、

論文査読、Scientific Reports、2024.2.

論文査読、BMC Geriatrics、2024.2-3.

論文査読、BMC Musculoskeletal Disorders、2024.3.

論文査読、Nursing Reports、2024.5.

中村美砂(代表)、河野良平、大籠友博：新規エクサカインに着目した認知症予防のための運動の有効性の性差の解明、科学研究費 基盤研究(C)、2021-2024.

中村美砂(代表)、肥田光正、峰久京子、上田有紀人：地域高齢者の姿勢・運動機能に着目した口腔機能低下関連因子の解明と予防法の確立、科学研究費 基盤研究(C)、2024-2026.

中村美砂(代表)、村上達典、今岡真和、嶋野広一、田崎史江、久保峰鳴：つげさんフレイル・ロコモ・認知症予防プロジェクト～横断研究～、大阪河崎リハビリテーション大学 共同研究費、2024.

肥田光正(代表)、今岡真和、今井亮太、和田親宗、中尾英俊、中村美砂：医工連携による地域で利用しやすい姿勢および関節アライメント測定プログラムの開発、科学研究費 基盤研究(C)、2022-2025.

峰久京子(代表)、中村美砂、野村和樹、岡健司、今岡真和、松尾加代：小中学生の運動器の構造・機能的評価と効果的な運動介入の検討、科学研究費 基盤研究(C)、2023-2025.

畑中 良太

■誌上発表

Ryota Hatanaka, Yumi Higuchi, Masakazu Imaoka : Improving Motor Skills in Five Children With Developmental Coordination Disorder Traits and Its Impact on Parenting Stress: A Case Series. Cureus, 16(6):e61691, 2024.

■社会活動、その他

自立活動の指導、岸和田支援学校、2024.6.28-2025.3.31.

発達系理学療法士Ⅱ、畿央大学、2024.4.1-2025.3.31.

特別講義、平成リハビリテーション専門学校、2024.12.11.

岸和田市特別支援教育研修、岸和田市教育委員会、2024.8.1.

令和 6 年度 近畿地区特別支援学校肢体不自由教育研究会 第 70 回夏季研修会(大阪大会)、2024.8.6.

日本小児理学療法士学会 評議員、2024 年度.

畑中良太(代表)：発達性協調運動症児と親の心理社会的問題の軽減を目的とした運動技能トレーニング、科学研究費 基

盤研究(C), 4,030,000 円, 2024 年度 -2026 年度.

シエルキッズプロジェクト 運動が不器用なお子様の運動プログラム. 大阪河崎リハビリテーション大学, 2024.5-11.
遊びの中でバランスを鍛えよう. 貝塚市民図書館, 2024.7.24.

久利 彩子

■誌上発表

久利彩子, 田崎史江, 中越雄也, 椎木康至, 竹内直子: アーチドームを利用した園芸活動における車いす利用者の姿勢と関節角度について. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要, 18:34-40, 2024.

■口頭発表

Ayako Hisari, Naoko Takeuchi, Iori Arisue, KIM SUNGHYUN, Masaaki Yoneda: Unstable Subject's Characteristics of Center of Pressure Changes During the Transition from Bilateral to Unilateral. The International Society of Electrophysiology and Kinesiology (ISEK), Nagoya Congress Centre (NCC), Nagoya, Japan, 2024.6.26-29.

有末伊織, 岩下篤司, 小西有人, 久利彩子, 竹内直子, 藤長武士: 外反母趾者の歩行における足趾で床を押す力ベクトルの研究~蹴り出しのタイミングの違い. 第10回南大阪リハビリテーションケア・学会, 馬場記念病院, 大阪, 2024.3.2.

久利彩子, 竹内直子, 有末伊織, KIM SUNGHYUN, 米田正明: 健常者と片脚立位困難者における左右 COP と遊脚側外果位置の変化時点の解析. 第61回日本リハビリテーション医学会学術集会, セルリアンタワー東急ホテル・渋谷エクセルホテル東急・渋谷ヒカリエ・渋谷区文化総合センター大和田, 東京, 2024.6.13-16.

久利彩子, 中田典生, 有末伊織, 武井健一, 中川竜之介, 米田正明: 動画を用いた基本動作時間の自動算出と人の算出結果との関連性について. 第8回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 岡山コンベンションセンター, 岡山, 2024.11.1-3.

中田典生, 久利彩子, 竹内直子, 有末伊織, 中川竜之介, KIM SUNGHYUN, 米田正明: Short Physical Performance Battery の動画画像からの自動計測システムの開発. 第11回日本サルコペニア・フレイル学会大会, 都市センターホテル, 東京, 2024.11.2-3.

田崎史江, 久利彩子, 河崎建人: 大阪河崎リハビリテーション大学ーメディカルスタッフが目指す園芸療法士ー. 人間・植物関係学会, 日本園芸療法学会 2024 年度合同大会, 神戸学院大学ポートアイランド第1キャンパス, 兵庫, 2024.11.9-10.

久利彩子, 田崎史江, 中越雄也: 車いす利用者における作業姿勢とその座圧について. 人間・植物関係学会, 日本園芸療法学会 2024 年度合同大会, 神戸学院大学ポートアイランド第1キャンパス, 兵庫, 2024.11.9-10.

久利彩子, 中川竜之介, 岡健司, 有末伊織, 米田正明, 武井健一, 中田典生: 起立着座・歩行における姿勢推定 AI 収集座標と動作解析システム収集座標との相互相関関数ラグ0時点の値を用いた関連性評価. 第45回バイオメカニズム学術講演会, 電気通信大学, 東京, 2024.12.7-8.

■社会活動, その他

第1107回 臨床実習指導者講習会, オンライン, 2024.9.7-8.

貝塚市山手地区公民館祭り「あなたの“つまずきやすさ”を評価します”. 貝塚市山手地区公民館, 2024.10.20.

肥田 光正

■誌上発表

Ryota Imai, So Tanaka, Takanari Kubo, Mitsumasa Hida, Hidetoshi Nakao, Masakazu Imaoka, Tomohiko Nishigami: Differences in self-reported signs related to central sensitization and pressure pain threshold related to knee osteoarthritis and sarcopenia. European Geriatric Medicine, 15(5):1449-1459, 2024.

Misa Nakamura, Masakazu Imaoka, Keiko Sakai, Takanari Kubo, Ryota Imai, Mitsumasa Hida, Fumie Tazaki, Junya Orui, Takao Inoue, Masatoshi Takeda: Complement component C3 is associated with body composition parameters and sarcopenia in community-dwelling older adults: a cross-sectional study in Japan. BMC Geriatrics, 24(1), 2024. doi: 10.1186/s12877-024-04720-z.

■口頭発表

Masakazu Imaoka, Fumie Tazaki, Mitsumasa Hida, Wataru Ichinose, Shotaro Takamatsu, Keiko Sakai, Misa Nakamura: The relevance of segmental body composition in fragility fracture patients among community dwelling elderly. The 24th Edition of the WCO-IOF-ESCEO Congress, London, United Kingdom, 2024.4.11-4.14.

Ayuna Hasegawa, Kouta Yamasaka, Mitsumasa Hida, Noriko Ichinoseki-Sekine : Short-term Effects Of Neuromuscular Electrical Stimulation Therapy On Undernourished Older Women. ACSM Annual Meeting, Boston(MA), USA, 2024.5.28-5.31.

Kodai Kitagawa, Mitsumasa Hida, Chikamune Wada, Hiroaki Yamamoto : Vertebral Force Prediction during Manual Lifting using Sagittal Plane Posture and Machine Learning. 2024 IEEE 13th Global Conference on Consumer Electronics(GCCE2024), Asia-pacific Import Mart, Fukuoka, 2024.10.29-11.1.

中村美砂, 今岡真和, 田崎史江, 肥田光正, 今井亮太, 久保峰鳴, 堺景子, 武田雅俊 : 正常認知機能から軽度認知障害における血中トランスサイレチンレベルの推移について. 第 13 回日本認知症予防学会, パシフィコ横浜, 神奈川, 2024.9.27-9.29.

今岡真和, 肥田光正, 岡原聡, 吉野由里子, 藤田昇, 永井琴子, 関口卓也 : 就業者への運動機能計測に基づく行動変容アプローチがプレゼンティーズムに及ぼす影響(UMIN : 000051019). 第 7 回日本産業理学療法学会学術大会, オンライン開催, 2024.10.27.

岡原聡, 今岡真和, 肥田光正, 吉野由里子, 藤田昇, 永井琴子, 関口卓也 : 就業者の睡眠状況の違いによるプレゼンティーズムや運動機能の差についての検討. 第 7 回日本産業理学療法学会学術大会, オンライン開催, 2024.10.27.

中村美砂, 堺景子, 久保峰鳴, 肥田光正, 田崎史江, 今井亮太, 今岡真和 : 地域高齢者のサルコペニアと血中補体 C3 との関係について. 第 11 回日本サルコペニア・フレイル学会大会, 都市センターホテル, 東京, 2024.11.2-11.3.

今岡真和, 肥田光正, 中村美砂, 堺景子, 安在絵美, 程彦, 長谷川芳則, 市瀬嵩志, 橋伸彦 : 就労高齢者を包含した地域在住高齢者に対する運動とタンパク質摂取によるフレイル改善効果の検証 : ランダム化比較試験(UMIN000052593). 第 11 回日本予防理学療法学会学術大会, 仙台大学, 宮城, 2024.11.9-11.10.

■社会活動, その他

神経・筋疾患理学療法学基礎演習. 京都橘大学, 2024.4.1-9.30.

物理療法学. 京都橘大学, 2024.4.1-9.30.

リハビリテーション看護Ⅰ. 宝塚市立看護専門学校, 2024.4.1-9.30.

リハビリテーション看護Ⅱ. 宝塚市立看護専門学校, 2024.10.1-2025.3.31.

情報科学Ⅱ. 河崎会看護専門学校, 2024.10.1-2025.3.31.

神経・筋疾患理学療法学応用演習. 京都橘大学, 2024.10.1-2025.3.31.

物理療法学演習. 京都橘大学, 2024.10.1-2025.3.31.

第 37 回大阪府理学療法学会学術大会 学術局. 2024-2025.

これからはじまるフレイル予防と地域で行う健康寿命対策について. 西宮市立 山口公民館地域学習推進員会講座, 2024.6.23.

中村美砂(代表), 肥田光正, 峰久京子, 上田有紀人 : 地域高齢者の姿勢・運動機能に着目した口腔機能低下関連因子の解明と予防法の確立. 科学研究費 基盤研究(C), 2024-2026.

肥田光正(代表), 今岡真和, 今井亮太, 和田親宗, 中尾英俊, 中村美砂 : 医工連携による地域で利用しやすい姿勢および関節アライメント測定プログラムの開発. 科学研究費 基盤研究(C), 2022-2025.

古井 透

■社会活動, その他

リハビリテーション相談会. 社会福祉法人 聖フランシスコ会 ふるさとの家, 2024.1-12.

せんなん里海公園・"海に吼える!" 新春里海まつり(リハビリテーション相談会). 2024.1.13.

阪南市ボランティア市民活動フェスティバル「リハビリテーション相談」. 阪南地域交流館, 2024.3.9

せんなん里海さくらフェス(いきいき会 リハビリテーション相談会). 大阪府立せんなん里海公園・第 11 回せんなん里海さくらフェス, 2024.3.23.

古井透 : 「歩くを学ぶ 3」. 阪南ノルディックウォークいきいき会 スキルアップ講習会・指導者研修会, 阪南地域交流館 体育施設, 2024.4.7.

古井透 : 「歩くを学ぶ 4」. 阪南ノルディックウォークいきいき会 スキルアップ講習会・指導者研修会, 阪南地域交流館 体育施設, 2024.12.15.

リハビリ教室全国パーキンソン病友の会 大阪府支部「いずみ会」. 2024.1-12.

峰久 京子

■口頭発表

峰久京子, 岡健司, 野村和樹, 中村美砂: コロナ禍とポストコロナ期における医療系大学生の体組成と運動機能の比較検討. 第11回日本サルコペニア・フレイル学会大会, 都市センターホテル, 東京, 2024.11.2-3.

中村美砂, 堺景子, 久保峰鳴, 肥田光正, 田崎史江, 今井亮太, 峰久京子, 今岡真和: 地域高齢者のサルコペニアと血中補体C3との関係について. 第11回日本サルコペニア・フレイル学会大会, 都市センターホテル, 東京, 2024.11.2-3.

■社会活動, その他

臨床実習指導者講習会 講義1「臨床実習制度の理念と概要」. 公益社団法人 日本理学療法士協会 臨床実習指導者講習会, 2024.9.7-8.

臨床実習指導者講習会 世話人. 公益社団法人 日本理学療法士協会 臨床実習指導者講習会, 2024.9.7-8.

日本生活支援工学学会 評議員. 2000.9-現在.

一般社団法人 大阪府理学療法士会生涯学習センター 大阪府理学療法学会大会 委員. 2023.11.14 -2025.

査読. 第12回日本運動器理学療法学会学会大会, 2024.6.14.

査読. 第22回日本神経理学療法学会学会大会, 2024.6.14.

査読. 第29回日本基礎理学療法学会学会大会, 2024.7.4.

査読. 第7回日本理学療法管理学会学会大会, 2024.7.22.

査読. 第13回日本理学療法教育学会学会大会, 2024.7.26.

査読. 第64回近畿理学療法学会大会, 2024.10.1.

峰久京子(代表), 中村美砂, 野村和樹, 岡健司, 今岡真和, 松尾加代: 小中学生の運動器の構造・機能的評価と効果的な運動介入の検討. 科学研究費 基盤研究(C), 4,290,000 円, 2023-2026 年度.

中村美砂(代表), 肥田光正, 峰久京子, 上田有紀人: 地域高齢者の姿勢・運動機能に着目した口腔機能低下関連因子の解明と予防法の確立. 科学研究費 基盤研究(C), 2024-2027 年度.

村上 達典

■誌上発表

Wataru Kozuki, Yumi Higuchi, Tetsuya Ueda, Tatsunori Murakami, Aki Gen: Effects of the Internet-based rehabilitation information sharing program on psychological stress of family caregivers of inpatients: A non-randomized controlled study. *Medicine (Baltimore)*, 19(103):e38910, 2024.

Wataru Ichinose, Masakazu Imaoka, Misa Nakamura, Keiko Sakai, Fumie Tazaki, Takanari Kubo, Tatsunori Murakami, Shotaro Takamatsu: Factors associated with physical frailty in community-dwelling older people. *COGNITION & REHABILITATION*, 5(1):63-69, 2024.

Shotaro Takamatsu, Masakazu Imaoka, Misa Nakamura, Keiko Sakai, Fumie Tazaki, Tatsunori Murakami, Wataru Ichinose: The effect of sarcopenia on cognitive function in community-dwelling older people. *COGNITION & REHABILITATION*, 5(1):70-79, 2024.

■口頭発表

村上達典, 中村美砂, 今岡真和, 久保峰鳴, 佐伯純弥, 青木健太, 大木雅隆: 地域在住高齢者の呼吸サルコペニア・全身性サルコペニアと口腔機能の関係. 第10回日本呼吸理学療法学会学会大会, 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター, 新潟, 2024.9.7-8.

橋本朋子, 玄安季, 上田哲也, 村上達典, 石上美桜, 樋口由美: 地域高齢者の身体活動量および孤独感に対するスマホ教室の効果検証: 無作為比較試験. 第83回日本公衆衛生学会総会, 札幌コンベンションセンター, 北海道, 2024.10.29-31.

玄安季, 橋本朋子, 上田哲也, 村上達典, 石上美桜, 樋口由美: 社会的フレイルな地域高齢者に対する複合プログラムの効果検証: 無作為比較試験. 第83回日本公衆衛生学会総会, 札幌コンベンションセンター, 北海道, 2024.10.29-31.

村上達典, 今岡真和, 中村美砂, 久保峰鳴, 一ノ瀬航, 高松昌太郎, 伊藤里紗, 近藤颯人, 西居宅真, 松本凱貴: 地域在住高齢者における身体的プレフレイルと客観的睡眠評価・主観的睡眠評価の関係. 第11回日本予防理学療法学会学会大会, 仙台大学, 宮城, 2024.11.9-10.

■社会活動, その他

中村美砂(代表), 村上達典, 今岡真和, 嶋野広一, 田崎史江, 久保峰鳴: つげさんフレイル・ロコモ・認知症予防プロジェクト～横断研究～. 大阪河崎リハビリテーション大学 共同研究費, 1,000,000 円, 2024 年度.

村西 壽祥

■社会活動, その他

大阪府理学療法士会生涯学習センター 認定理学療法士臨床認定カリキュラム「肩関節疾患の機能解剖と理学療法」. 一般社団法人大阪府理学療法士会生涯学習センター, 2024.10.27.

「五十肩と思ひ込む前に - 知っておこう『五十肩』と『腱板断裂』-」. 大阪河崎リハビリテーション大学, 2024.12.20.

第 21 回肩の運動機能研究会 準備委員. 2023.11-2024.10.

日本リハビリテーション臨床教育研究会 代議員. 2024.5- 現在.

<作業療法学専攻>

岡田 守弘

■社会活動, その他

内科学. 宝塚医療大学 和歌山保健医療学部, 2024.9-2025.1.

病理学各論 I (循環器, 血液・造血器, 感染症・アレルギー・膠原病, 感染症, 代謝・内分泌). 河崎会看護専門学校 第 1 学科, 2024.4-2025.1.

病理学各論 IV (消化器内科). 河崎会看護専門学校 第 1 学科, 2024.4-2025.1.

成人看護 内科(呼吸器, 血液, 内分泌・代謝, アレルギー, 膠原病, 感染症). 河崎会看護専門学校 准看護学科, 2024.5-11.

耳鼻咽喉. 河崎会看護専門学校 准看護学科, 2024.5-11.

和歌山県立医科大学 非常勤医師.

社会医療法人三和会 永山病院 内科・救急科 非常勤医師.

社会福祉法人 永楽福祉会 評議員.

論文査読. Health and Medical Research Fund, the Food and Health Bureau, Hong Kong special administrative region.

上島 健

■口頭発表

Kenji Hiramoto, Takeshi Kamishima, Kunihiro Umayahara : Relationships of Individuals Having a Hospitalized Sibling in Middle or Old Age with Intellectual Disabilities in Connection with Their Families and Surroundings. 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress, Sapporo Convention Center, Japan, 2024.11.6-9.

Takeshi Kamishima, Kenji Hiramoto, Kunihiro Umayahara : A Literature Review on Social Isolation and Cognitive Functioning of the Elderly in Japan: Support by Occupational Therapists in the Post-Pandemic Phase. 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress, Sapporo Convention Center, Japan, 2024.11.6-9.

■社会活動, その他

介護職員初任者研修課程. 大阪府立貝塚高等学校福祉科, 2024.7.29, 8.5.

尼崎市住宅改造費助成事業 住まいの改良相談員. 尼崎市社会福祉協議会, 2024.1.1-12.31.

福祉住環境コーディネーター 3 級対策講座「第 2 章 障害者総合支援法, 第 4 章 安全・安心・快適な住まいづくり、障害者総合支援法」. 大阪府立貝塚高等学校 福祉科, 2024.6-10.

認知症疾患医療センター地域連携会議 講師. 水間病院, 2024.2.19.

一般社団法人 日本作業療法士協会 代議員. 2024.1-2027.12.

一般社団法人 日本作業療法士協会 第 6 期 学会演題審査委員. 2021-2024.3.31.

大阪市障害支援区分認定審査会委員. 大阪市西淀川区役所, 2023.4.1-2025.3.31.

貝塚市介護認定審査会委員. 貝塚市役所, 2023.4.1-2025.3.31.

岸村 厚志

■口頭発表

Mana Sekiguchi, Atsushi Kishimura : Quality of Life Survey of Users of the Center for Independent Living. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024, Sapporo Convention Center Sapporo, Japan, 2024.11.6.

Atsushi Kishimura, Yoshio Tsuchiya, Daisuke Saeki, Itoko Tobita, Takahi Kusaka, Takayuki Tanaka : Comparison of Back Burden of Three Transfer Assistance Methods Using a Sliding Board. The 8th Asia Pacific Occupational

Therapy Congress 2024, Sapporo Convention Center Sapporo, Japan, 2024.11.8.

岸村厚志, 飛田伊都子, 椿原美治, 多久和善子, 戸田満秋, 山下哲平, 廣瀬稔, 伊藤正人, 猪坂義隆: 慢性血液透析患者にとっての「意味のある作業」に関する実態調査. 第14回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会, 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター, 新潟, 2024.3.17.

多久和善子, 飛田伊都子, 岸村厚志, 山下哲平, 椿原美治, 戸田満秋: 腎臓リハビリテーションに必要な看護とは～活動量調査結果から考えるアプローチ～. 第14回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会, 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター, 新潟, 2024.3.17.

廣瀬忍, 飛田伊都子, 岸村厚志, 熊谷典子: おむつ交換技術習得に向けた教育プログラムの効果 - 介護従事者における有効性検証 -. 第9回医療行動分析学研究会, 大阪医科薬科大学看護学部(本部北キャンパス)講堂, 大阪, 2024.5.12.

岸村厚志, 飛田伊都子, 多久和善子, 戸田満秋, 山下哲平, 椿原美治, 猪坂義隆: IoT 機器を活用した血液透析(HD)患者の在宅運動支援の有効性検証: ADOC 評価の観点から. 第69回日本透析医学会学術集会・総会, パシフィコ横浜, 神奈川, 2024.6.7-9.

飛田伊都子, 岸村厚志, 多久和善子, 戸田満秋, 山下哲平, 椿原美治, 猪坂義隆: IoT 機器を活用した血液透析(HD)患者の在宅運動支援の有効性検証～筋力評価の観点から～. 第69回日本透析医学会学術集会・総会, パシフィコ横浜, 神奈川, 2024.6.8.

多久和善子, 飛田伊都子, 岸村厚志, 戸田満秋, 山下哲平, 椿原美治, 猪坂義隆: IoT 機器を活用した血液透析患者の在宅運動支援の有効性検証～健康関連 QOL の観点から～. 第69回日本透析医学会学術集会・総会, パシフィコ横浜, 神奈川, 2024.6.7-9.

飛田伊都子, 岸村厚志: 行動の強化につなげる ABC 分析 - 応用行動分析のススメ -. 第38回日本保健医療行動科学学会学術大会, 京都大学医学部 人間健康科学科棟, 京都, 2024.10.27.

■社会活動, その他

高齢者講座(いきいき大学)「役に立つ心理学! 問題解決のための行動分析学」. 泉大津市総合福祉センター, 2024.4.18.

査読. 第44回近畿作業療法学会, 2024.6.29-30.

演題査読. 第58回日本作業療法学会 学会企画委員会, 2024.11.9-10.

第9回医療行動分析学研究会 実行委員. 2023.12-2024.5.

第38回日本保健医療行動科学学会学術大会 実行委員. 2023.12.5-2024.10.30.

日本作業療法士協会 社員(代議員). 2024.

大阪府作業療法士会 事務局長・理事. -2024.6.

大阪府作業療法士会 理事. 2024.6-現在.

行動リハビリテーション研究会 理事. 2024.

社会作業療法士協会 事務局長・理事. 2024.

第20回医療の質・安全学会学術集会 運営委員会 副委員長. 2024.4.24-2025.12.31.

医療行動分析学研究会 事務局長. 2024.7-現在.

大阪府作業療法士会 総務部情報チーム 委員. 2024.

大阪府作業療法士会 教育部新人教育チーム 委員. 2024.

飛田伊都子(代表), 伊藤正人, 椿原美治, 廣瀬稔, 岸村厚志, 戸田満秋, 山下哲平, 多久和善子, 猪坂義隆, 山本佳代子, 小川正子, 東辻保則: IoT 機器を活用した在宅腎臓リハビリテーションの遠隔支援システムの構築. 科学研究費基盤研究(B), 2024.

大阪市介護認定審査会 委員.

大阪市障がい支援区分認定審査会 委員.

堺 景子

■誌上発表

Keiko Sakai, Seiichiro Tarutani, Takehiko Okamura, Hiroshi Yoneda, Tatsuhito Kawasaki, Masatoshi Takeda: Comparing personality traits of healthcare workers with and without long COVID: Cross-sectional study. Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports, 3(4):e70017, 2024.

Misa Nakamura, Masakazu Imaoka, Keiko Sakai, Takanari Kubo, Ryota Imai, Mitsumasa Hida, Fumie Tazaki, Junya Orui, Takao Inoue, Masatoshi Takeda: Complement component C3 is associated with body composition parameters

and sarcopenia in community-dwelling older adults: a cross-sectional study in Japan. BMC Geriatrics, 24(1):102, 2024.

Masatoshi Takeda, Kumi Kinoshita, Akihiro Kaminoh, Takako Mizuno, Tatsuhiko Masuzawa, Yuya Nakagoshi, Keigo Shiraiwa, Maki Takei, Keiko Sakai : Relationship between the number of centenarians and the number of health care workers. COGNITION & REHABILITATION, 5(1):28-37, 2024.

Masatoshi Takeda, Masayo Inoue, Ryohei Kono, Keigo Shiraiwa, Kayo Matsuo, Yuya Nakagoshi, Tatsuhiko Masuzawa, Yukito Ueda, Keiko Sakai : Health benefits of laughter and humor - Does simulated laughter have health benefits?. COGNITION & REHABILITATION, 5(1):96-110, 2024.

Wataru Ichinose, Masakazu Imaoka, Misa Nakamura, Keiko Sakai, Fumie Tazaki, Takanari Kubo, Tatsunori Murakami, Shotaro Takamatsu : Factors associated with physical frailty in community-dwelling older people. COGNITION & REHABILITATION, 5(1):63-69, 2024.

Shotaro Takamatsu, Masakazu Imaoka, Misa Nakamura, Keiko Sakai, Fumie Tazaki, Tatsunori Murakami, Wataru Ichinose : The effect of sarcopenia on cognitive function in community-dwelling older people. COGNITION & REHABILITATION, 5(1):70-79, 2024.

堺景子, 樽谷精一郎, 中谷結香, 松本康一, 岡村武彦, 米田博, 武田雅俊 : 新型コロナウイルス感染症流行下における家族介護者のメンタルヘルスと介護負担感について. 老年精神医学雑誌, 35(2):189-197, 2024.

■口頭発表

Masakazu Imaoka, Fumie Tazaki, Mitsumasa Hida, Wataru Ichinose, Shotaro Takamatsu, Keiko Sakai, Misa Nakamura : The relevance of segmental body composition in fragility fracture patients among community dwelling elderly. The 24th Edition of the WCO-IOF-ESCEO Congress, London, 2024.4.11-14.

中村美砂, 今岡真和, 田崎史江, 肥田光正, 今井亮太, 久保峰鳴, 堺景子, 武田雅俊 : 正常認知機能から軽度認知障害における血中トランスサイレチンレベルの推移について. 第 13 回日本認知症予防学会学術集会, パシフィコ横浜, 神奈川, 2024.9.27-29.

今岡真和, 伊藤里紗, 西居壱真, 近藤颯人, 松本凱貴, 一ノ瀬航, 高松昌太郎, 田崎史江, 久保峰鳴, 村上達典, 嶋野広一, 中村美砂, 堺景子 : 地域在住女性高齢骨粗鬆症患者に対するアフターコロナの影響について. 第 26 回日本骨粗鬆症学会, 金沢市文化ホール 他, 石川, 2024.10.11-13.

中村美砂, 堺景子, 久保峰鳴, 肥田光正, 田崎史江, 今井亮太, 今岡真和 : 地域高齢者のサルコペニアと血中補体 C3 との関係について. 第 11 回日本サルコペニア・フレイル学会大会, 都市センターホテル, 東京, 2024.11.2-3.

今岡真和, 肥田光正, 中村美砂, 堺景子, 安在絵美, 程彦, 長谷川芳則, 市瀬嵩志, 橋伸彦 : 就労高齢者を包含した地域在住高齢者に対する運動とタンパク質摂取によるフレイル改善効果の検証 : ランダム化比較試験. 第 11 回日本予防理学療法学会学術大会, 仙台大学船岡キャンパス, 宮城, 2024.11.9-10.

武井真紀, 松尾加代, 堺景子, 田崎史江 : アルコール依存症患者の再飲酒のリスク要因の検討 - 断酒生活を継続するための支援を考える -. 第 58 回日本作業療法学会, 札幌コンベンションセンター, 北海道, 2024.11.9-10.

■社会活動, その他

関西大学保健管理センター心理相談室 心理相談員.

大阪府精神医療審査会 委員.

日本精神神経学会 代議員.

大阪府医師会「臨床研修指導医のための教育ワークショップ」タスクフォース.

嶋野 広一

■口頭発表

嶋野広一, 今岡真和, 久保峰鳴, 田崎史江, 中村美砂 : つげさん アタマとカラダをやるヘルスチェックの紹介と参加者の主観的健康感. 第 18 回日本作業療法研究学会学術集会, 長崎大学医学部 坂本キャンパス, オンライン開催, 2024.8.31-9.1.

今岡真和, 伊藤里紗, 西居壱真, 松本凱貴, 田崎史江, 久保峰鳴, 村上達典, 嶋野広一, 中村美砂, 堺景子 : 地域在住女性高齢者骨粗鬆症患者に対するアフターコロナの影響について. 第 26 回日本骨粗鬆症学会, 石川県立音楽堂 他, 石川, 2024.10.11-13.

■社会活動, その他

大阪府作業療法士会 学術局教育部新人教育チーム 部員.

つげさん アタマとカラダをのヘルスチェック 運営スタッフ.

中村美砂(代表), 村上達典, 今岡真和, 嶋野広一, 田崎史江, 久保峰鳴: つげさんフレイル・ロコモ・認知症予防プロジェクト〜横断研究〜. 大阪河崎リハビリテーション大学 共同研究費, 1,000,000 円, 2024 年度.

白岩 圭悟

■誌上発表

Ryouhei Ishii, Keigo Shiraiwa : Harnessing neuromodulation to tackle rumination: Trait-dependent effects of theta burst stimulation. *Clinical neurophysiology*, 162:222-223, 2024.

Junya Orui, Keigo Shiraiwa, Fumie Tazaki, Takao Inoue, Masaya Ueda, Keita Ueno, Yasuo Naito, Ryouhei Ishii : Psychophysiological and interpersonal effects of parallel group crafting: a multimodal study using EEG and ECG. *Scientific Reports*, 14:17883, 2024.

Masatoshi Takeda, Kumi Kinoshita, Akihiro Kaminoh, Takako Mizuno, Tatsuhiko Masuzawa, Yuya Nakagoshi, Keigo Shiraiwa, Maki Takei, Keiko Sakai : Relationship between the number of centenarians and the number of health care workers. *COGNITION & REHABILITATION*, 5(1):28-37, 2024.

Masatoshi Takeda, Masayo Inoue, Ryohei Kono, Keigo Shiraiwa, Kayo Matsuo, Yuya Nakagoshi, Tatsuhiko Masuzawa, Yukito Ueda, Keiko Sakai : Health benefits of laughter and humor - Does simulated laughter have health benefits?. *COGNITION & REHABILITATION*, 5(1):96-110, 2024.

大類淳矢, 白岩圭悟, 田崎史江, 井上貴雄, 上田将也, 上野慶太, 内藤泰男, 石井良平: 集団を用いた精神科リハビリテーション: 多面的な意義と効果. *最新精神医学*, 29(4):253-258, 2024.

武田雅俊, 井上雅代, 河野良平, 白岩圭悟, 河崎美紀, 河崎建人: 笑いの健康効果と神経基盤. *仁明会精神医学研究*, 22(1):48-61, 2024.

■口頭発表

Fumie Tazaki, Keigo Shiraiwa, Junya Orui, Michiharu Sakaguchi, Yasuo Naito, Ryouhei Ishii : Activation of supplementary motor cortex through horticultural activities with fresh flowers for older people. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress, Sapporo Convention Center, Japan, 2024.11.6-8.

Junya Orui, Takao Inoue, Arisa Kitada, Miru Hamada, Miki Oishi, Kaoru Toue, Mana Tsuji, Keigo Shiraiwa, Ryouhei Ishii : Occupational engagement is influenced by cognitive and occupational dysfunction, which affects personal recovery. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress, Sapporo Convention Center, Japan, 2024.11.6-8.

Keigo Shiraiwa, Junya Orui, Fumie Tazaki, Michiharu Sakaguchi, Yasuo Naito, Ryouhei Ishii : Proficiency in craft activities alters brain networks and parasympathetic activity. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress, Sapporo Convention Center, Hokkaido, 2024.11.6-8.

Yuka Matsushiro, Riko Onishi, Kirara Kurauchi, Ayato Nakajima, Yuki Ohara, Souma Nishikawa, Keigo Shiraiwa : Concentration on craft activities induces a state of relaxation. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress, Sapporo Convention Center, Hokkaido, 2024.11.6-8.

白岩圭悟: 作業活動の治療的有用性〜脳波と自律神経活動を用いた検討〜. 第44回CRRCセミナー, 大阪河崎リハビリテーション大学, 大阪, 2024.1.17.

白岩圭悟, 堺景子, 田崎史江, 大類淳矢, 内藤泰男, 石井良平, 武田雅俊: COVID-19後のブレインフォグにおける脳波活動. 第46回Fmθ研究会, 浅香山病院, 大阪, 2024.3.30.

白岩圭悟: リハビリテーション研究における脳波と自律神経の活用. 第23回釧路ニューロサイエンスワークショップミニレクチャー, 釧路ロイヤルイン, 北海道, 2024.7.5-6.

白岩圭悟, 大類淳矢, 田崎史江, 阪口満陽, 内藤泰男, 石井良平: リハビリテーション研究における脳波と自律神経の活用. 第26回日本薬物脳波学会学術集会シンポジウム, kokoka京都市国際交流会館, 京都, 2024.7.19-20.

白岩圭悟, 大類淳矢, 田崎史江, 阪口満陽, 内藤泰男, 石井良平: 手工芸活動の習熟に伴う脳波活動の変化. 第26回日本薬物脳波学会学術集会, kokoka京都市国際交流会館, 京都, 2024.7.19-20.

大類淳矢, 白岩圭悟, 田崎史江, 井上貴雄, 上田将也, 上野慶太, 内藤泰男, 石井良平: 並行手工芸の生理学的効果: 副交感神経活動と生理的同調性の薬物脳波との関連. 第26回日本薬物脳波学会学術集会, kokoka京都市国際交流会館, 京都, 2024.7.19-20.

増永百華, 田崎史江, 石井良平, 白岩圭悟: フラワーアレンジメント時の生理的特性と主観的評価ー生花と造花の比較ー.

人間・植物関係学会，日本園芸療法学会 2024 年度合同大会，神戸学院大学ポートアイランド第 1 キャンパス，兵庫，2024.11.9-10.

■社会活動，その他

大類淳矢(代表)，石井良平，内藤泰男，白岩圭悟，井上貴雄：「パラレルな場(並行集団)」での作業療法がもたらす効果の脳科学的機序の解明．科学研究費 基盤研究(C)，2023-2026 年度．

内藤泰男(代表)，上田将也，石井良平，白岩圭悟，稲本尊：頭部外傷による高次脳機能障害に対するリハビリテーション介入効果の脳科学的解明．科学研究費 基盤研究(C)，2023-2026 年度．

Frontiers in Human Neuroscience Editor.

「ひとと作業・生活」研究会 事務局代表.

武井 麻喜

■誌上発表

Masatoshi Takeda, Kumi Kinoshita, Akihiro Kaminoh, Takako Mizuno, Tatsuhiko Masuzawa, Yuya Nakagoshi, Keigo Shiraiwa, Maki Takei, Keiko Sakai : Relationship between the number of centenarians and the number of health care workers. COGNITION & REHABILITATION, 5(1):28-37, 2024.

■口頭発表

Takako Yoshimura, Aiko Osawa, Maki Takei, Shinichiro Maeshima : How Does Working Memory Capacity Affect Prospective Memory in Dementia? The 18th World Congress of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (ISPRM), Sydney, Australia, 2024.6.1-6.

Maki Takei, Kayo Matsuo : Factors Influencing University Students' Study Time for Exams. 33rd International Congress of Psychology, Prague, Czech Republic, 2024.7.21-26.

武井麻喜，松尾加代，堺景子，田崎史江：アルコール依存症患者の再飲酒のリスク要因の検討 - 断酒生活を継続するための支援を考える - Examining risk factors for relapse to drinking among patients with alcohol use disorder. 第 58 回日本作業療法学会，札幌コンベンションセンター，北海道，2024.11.9-10.

吉村貴子，武井麻喜：地域在住高齢者における認知機能検査反応の特徴とワーキングメモリ容量の関係．第 21 回日本ワーキングメモリ学会大会，大阪大学中之島センター，大阪，2024.12.14.

■社会活動，その他

リハビリテーション論．河崎会看護専門学校看護第 1 学科，2024.8-9.

忠岡町介護認定審査会 介護認定審査委員．泉北郡忠岡町役場，2024 年度．

シェルキッズプロジェクト 運動が不器用なお子様の運動プログラム．大阪河崎リハビリテーション大学，2024.5-11.

吉村貴子(代表)，大沢愛子，久育男，武井麻喜：視線を活かした認知症の人のコミュニケーション支援 - 視線を読み取り意思をアシスト - ．科学研究費 基盤研究(C)，2024 年度．

田崎 史江

■誌上発表

Wataru Ichinose, Masakazu Imaoka, Misa Nakamura, Keiko Sakai, Fumie Tazaki, Takanari Kubo, Tatsunori Murakami, Shotaro Takamatsu : Factors associated with physical frailty in community-dwelling older people. COGNITION & REHABILITATION, 5(1):63-69, 2024.

Shotaro Takamatsu, Masakazu Imaoka, Misa Nakamura, Keiko Sakai, Fumie Tazaki, Tatsunori Murakami, Wataru Ichinose : The effect of sarcopenia on cognitive function in community-dwelling older people. COGNITION & REHABILITATION, 5(1):70-79, 2024.

大類淳矢，白岩圭悟，田崎史江，井上貴雄，上田将也，上野慶太，内藤泰男，石井良平：集団を用いた精神科リハビリテーション：多元的な意義と効果．最新精神医学，29(4):253-258, 2024.

久利彩子，田崎史江，中越雄也，椎木康至，竹内直子：アーチドームを利用した園芸活動における車いす利用者の姿勢と関節角度について．大阪河崎リハビリテーション大学紀要，18:34-40, 2024.

白岩圭悟，堺景子，田崎史江，大類淳矢，内藤泰男，石井良平，武田雅俊：COVID-19 後のブレインフォグにおける脳波活動．浅香山病院医学雑誌，3:138, 2024.

■口頭発表

Akiyo Kawamura, Fumie Tazaki, Hideaki Nakai, Yuki Miyake, Masanori Komuro : APOTC Pre Congress Workshop: Pre-6 Connection Between People Through Plants: Japanese Horticultural Therapy Workshop. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress, Sapporo Convention Center, Japan, 2024.11.5.

Fumie Tazaki, Keigo Shiraiwa, Junya Orui, Michiharu Sakaguchi, Yasuo Naito, Ryouhei Ishii : Activation of supplementary motor cortex through horticultural activities with fresh flowers for older people. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress, Sapporo Convention Center, Japan, 2024.11.6-8.

Keigo Shiraiwa, Junya Orui, Fumie Tazaki, Michiharu Sakaguchi, Ysuo Naito, Ryouhei Ishii : Proficiency in craft activities alters brain networks and parasympathetic activity. The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress, Sapporo Convention Center, Japan, 2024.11.6-8.

田崎史江 : PEER GARDEN モバイル園芸療法サービス. 大阪公立大学ビジネスアイデアコンテスト 2024 本選会, 大阪公立大学 杉本キャンパス サイエンスホール, 大阪, 2024.11.2.

増永百華, 田崎史江, 石井良平, 白岩圭悟 : フラワーアレンジメント時の生理的特性と主観的評価 - 生花と造花の比較 -. 人間・植物関係学会, 日本園芸療法学会 2024 年度合同大会, 神戸学院大学ポートアイランド第1キャンパス, 兵庫, 2024.11.9-10.

久利彩子, 田崎史江, 中越雄也 : 車いす利用者における作業姿勢とその座圧について. 人間・植物関係学会, 日本園芸療法学会 2024 年度合同大会, 神戸学院大学ポートアイランド第1キャンパス, 兵庫, 2024.11.9-10.

■社会活動, その他

作業療法で園芸を活用しよう! 大阪府作業療法士協会泉州ブロック, 2024.6.21.

日本園芸療法学会 理事, 学会誌編集委員. 2024 年度.

人間・植物関係学会 会計監査. 2024 年度.

大阪府作業療法士会 泉州ブロック ブロック員. 2024-2026 年度.

阪南市泉南市岬町 障害支援区分認定審査会. 2024 年度.

中村美砂(代表), 村上達典, 今岡真和, 嶋野広一, 田崎史江, 久保峰鳴 : つげさんフレイル・ロコモ・認知症予防プロジェクト~横断研究~. 大阪河崎リハビリテーション大学 共同研究費, 1,000,000 円, 2024 年度.

寺山 久美子**■口頭発表**

寺山久美子 : 原点帰帰~作業療法の専門性を未来へ. 第 25 回千葉県作業療法士学会基調講演, 千葉県立保健医療大学 幕張キャンパス, 千葉, 2024.3.3.

寺山久美子 : 我が国における作業療法のこれまで・これから~. 基礎づくりを担当した者のひとりとして~. CRRC セミナー, 大阪河崎リハビリテーション大学, 大阪, 2024.3.12.

■社会活動, その他

医学教育学特論. 東京都立大学 健康福祉学部研究科, 2024.10-2025.3.

日本保健科学学会 名誉会員.

日本生活支援工学会 名誉会員.

日本在宅ケア学会 名誉会員.

日本作業療法士協会 名誉会員.

大阪府作業療法士会 名誉会員.

東京都作業療法士会 名誉会員.

日本リハビリテーション医学会 功労会員.

作業療法ジャーナル 編集顧問.

総合リハビリテーション 編集同人.

日本作業療法士連盟 相談役.

学校法人河崎学園 評議員.

公益財団法人共用品推進機構 評議員.

社会福祉法人サンフレンズ 相談役.

社会福祉法人はばたき 評議員.

日本在宅ケア教育研究所 外部評価委員・研究倫理審査委員。
東京都立大学 名誉教授。
大阪河崎リハビリテーション大学 名誉教授。

中越 雄也

■誌上発表

Masatoshi Takeda, Kumi Kinoshita, Akihiro Kaminoh, Takako Mizuno, Tatsuhiko Masuzawa, Yuya Nakagoshi, Keigo Shiraiwa, Maki Takei, Keiko Sakai : Relationship between the number of centenarians and the number of health care workers. COGNITION & REHABILITATION, 5(1):28-37, 2024.

Masatoshi Takeda, Masayo Inoue, Ryohei Kono, Keigo Shiraiwa, Kayo Matsuo, Yuya Nakagoshi, Tatsuhiko Masuzawa, Yukito Ueda, Keiko Sakai : Health benefits of laughter and humor - Does simulated laughter have health benefits? COGNITION & REHABILITATION, 5(1):96-110, 2024.

■口頭発表

Aki Komori, Hiromi Yoshikawa, Chikako Koyama, Masayuki Takagi, Orita Yasushi, Yuya Nakagoshi, Hiroko Osafune : Exploring Personal Narratives in Occupational Therapy Practice and Education: An Introduction to Playback Theatre. 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress, Sapporo Convention Center, Japan, 2024.11.6-9.

■社会活動, その他

日本作業療法教育学会 理事. 2024 年度.

認定作業療法士取得研修(選択) 身体障害の作業療法(日本作業療法士協会). 教育部部員, 2024 年度.

演題査読. 第 44 回近畿作業療法学会, 2024.3.3.

演題査読. 第 29 回日本作業療法教育学会大会, 2024.9.11.

中裕 俊介

■社会活動, その他

情報科学. 河崎会看護専門学校 看護第二学科, 2024.4.12-9.13.

レクリエーション総論. 河崎会看護専門学校 看護第二学科, 2024.9.4-12.18.

情報通信技術の基礎. 河崎会看護専門学校 准看護学科, 2024.9.13.

特性探求講座 SATURDAY 探求. 学校法人精華学園 精華高等学校, 2024.5.18.

留学生 レクリエーション講座. Mahidol University Faculty of Physical Therapy, 2024.8.31.

中裕 貴子

■誌上発表

Masatoshi Takeda, Kumi Kinoshita, Akihiro Kaminoh, Takako Mizuno(Nakamatsu), Tatsuhiko Masuzawa, Yuya Nakagoshi, Keigo Shiraiwa, Maki Takei, Keiko Sakai : Relationship between the number of centenarians and the number of health care workers. COGNITION & REHABILITATION, 5(1):28-37, 2024.

■社会活動, その他

阪南市泉南市岬町障害支援区分認定審査会 委員.

「片手用髪留め具開発」. TLG GROUP/ 合同会社 TLG, 2024.5.18.

増澤 達彦

■誌上発表

Masatoshi Takeda, Kumi Kinoshita, Akihiro Kaminoh, Takako Mizuno, Tatsuhiko Masuzawa, Yuya Nakagoshi, Keigo Shiraiwa, Maki Takei, Keiko Sakai : Relationship between the number of centenarians and the number of health care workers. COGNITION & REHABILITATION, 5(1):28-37, 2024.

Masatoshi Takeda, Masayo Inoue, Ryohei Kono, Keigo Shiraiwa, Kayo Matsuo, Yuya Nakagoshi, Tatsuhiko Masuzawa, Yukito Ueda, Keiko Sakai : Health benefits of laughter and humor - Does simulated laughter have health benefits? COGNITION & REHABILITATION, 5(1):96-110, 2024.

宮浦駿平, 増澤達彦, 橋本健志, 四本かやの : The Montreal Cognitive Assessment Japanese version(MoCA-J)の統合

失調症の認知機能障害スクリーニング尺度としての有用性の検証. 精神医学, 66(3):324-332, 2024.

■口頭発表

Shunpei Miyaura, Tatsuhiko Masuzawa, Kayano Yotsumoto, Takeshi Hashimoto : Montreal Cognitive Assessment Japanese version(MoCA-J) as a screening instrument for cognitive impairments in schizophrenia. 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress, Sapporo Convention Center, Japan, 2024.11.6-9.

＜言語聴覚学専攻＞

芦塚あおい

■誌上発表

Kenta Aoki, Aoi Ashizuka : Enhancing swallowing reflexes in patients with dysphagia through interferential current. COGNITION & REHABILITATION, 5(1):81-87, 2024.

青木健太, 芦塚あおい : SNS 嚥下障害患者に対する干渉電流型低周波治療器の嚥下機能に関わる反射の改善効果, 大阪河崎リハビリテーション大学大学院年報, 2:109-119, 2024.

■社会活動, その他

令和6年度京都府機能訓練指導員等研修会講師. オンライン開催, 2024.9.13.

芦塚あおい(代表), 武田雅俊, 大筆友博 : 高齢者における呼吸リハビリテーションによる呼吸と嚥下の協調性変化について. 科学研究費 基盤研究(C), 2023-2025 年度.

リハビリテーション看護. 河崎会看護専門学校 看護第2学科.

上田 有紀人

■誌上発表

Masatoshi Takeda, Masayo Inoue, Ryohei Kono, Keigo Shiraiwa, Kayo Matsuo, Yuya Nakagoshi, Tatsuhiko Masuzawa, Yukito Ueda, Keiko Sakai : Health benefits of laughter and humor - Does simulated laughter have health benefits? COGNITION & REHABILITATION, 5(1):96-110.

上田有紀人, 松尾皇, 松田佳奈, 百崎良, 新堂晃大, 富本秀和 : 常同性発話を呈した行動型前頭側頭葉型認知症の1例. 臨床神経, 64(12):878-883, 2024.

■口頭発表

Kana Matsuda, Masaki Shinohara, Yuicro Ii, Ken-ichi Tabei, Yukito Ueda, Naoko Nakamura, Yoshinori Hirata, Hidehiro Ishikawa, Hirofumi Matsuyama, Keita Matsuura, Masayuki Satoh, Masayuki Maeda, Ryo Momosaki, Hidekazu Tomimoto, Akihiro Shindo : Magnetic resonance imaging and neuropsychological findings for predicting of cognitive deterioration in memory clinic patients. World Federation of Neurology Specialty Group on Aphasia, Dementia and Cognitive Disorders, Nara Kasugano International Forum, Japan, 2024.4.4-7.

上田有紀人, 佐藤正之, 松田佳奈, 田部井賢一, 塚本能三, 安田竜太, 当麻直樹, 百崎良, 鈴木秀謙 : 頸動脈狭窄症に対するステント留置術による認知機能の経時的変化. 第48回日本高次脳機能学会, たま未来メッセ, 東京, 2024.11.8-9.

■社会活動, その他

神経・生理心理学. 相愛大学 人文学科, 2024.4.12-2024.7.26.

第6回日本スティオムレーションセラピー学会 特別講演 座長. 2024.10.5.

日本高次脳機能学会 代議員. 2024 年度.

みえ言語聴覚を考える会 世話人. 2024 年度.

宇都宮 洋才

■誌上発表

Ryohei Kono, Haruki Fujihira, Yoshiharu Okuno, Hiroto Utsunomiya : Recombinant human neuroblastoma SH-SY5Y cells overexpressing α -synuclein form amyloid aggregates in seed-dependent and seed-independent manners. COGNITION & REHABILITATION, 5(1):9-17, 2024.

河野良平, 奥野祥治, 高木沙也佳, 宇都宮洋才 : ムクナ豆(Mucuna pruriens)製品中に含まれるレボドパ量の比較. 日本未病学会雑誌, 29(3):10-17, 2023.

■口頭発表

奥野祥治, 藤岡美紅, 細川菜希, 宇都宮洋才, 河野良平: ブドウ山椒由来 α -グルコシダーゼ阻害物質. 日本生薬学会第 70 回年会, 近畿大学東大阪キャンパス, 大阪, 2024.9.15-16.

河野良平, 藤平晴己, 奥野祥治, 宇都宮洋才: 焙煎ムクナ豆はレビー小体型認知症原因タンパク質 α シヌクレインの神経細胞内凝集を抑制する. 第 31 回日本未病学会学術総会, 金沢医科大学北辰講堂橋ホール, 石川, 2024.11.2-3.

立石恒一郎, 加藤主税, 戸草内瑞生, 河野良平, 夏見宇茉, 竹腰進, 奥野祥治, 宇都宮洋才, 山本典生: 梅抽出物の抗インフルエンザウイルス活性の評価と作用メカニズムの解析. 第 71 回日本ウイルス学会学術集会, ウィンクあいち, 愛知, 2024.11.4-6.

■社会活動, その他

病理学, 河崎会看護専門学校, 2024.4.1-2025.3.31.

「それって!? 実際どうなの課【プレミアム梅干しで一攫千金?】」. 読売テレビ, 2024.1.31.

「これならできる! 令和の梅仕事」. NHK 総合 あさイチ, 2024.6.18.

「ソレダメ! あなたの常識は非常識! ?」. テレビ大阪, 2024.6.19.

「小雪と発酵おばあちゃん〜梅おばあちゃんの梅麴漬け〜」. NHK E テレ, 2024.7.21.

宇都宮洋才, 河野良平: 八升豆、八升豆抽出物、又は八升豆由来成分を有効成分とするパーキンソン病治療薬の研究開発. 株式会社 紀州ほそ川 共同研究費, 2023.8.1-2024.7.31.

宇都宮洋才, 河野良平: 梅、梅抽出物、又は、梅由来成分を有効成分とするヒト不妊症治療剤の研究開発. 株式会社 紀州ほそ川 共同研究費, 2023.8.1-2024.7.31

宇都宮洋才, 河野良平: 梅及び梅抽出物に含有される抗ウイルス物質の探索と同定. 受託研究費(みなべ町長), 2023.7.7-2024.3.15

宇都宮洋才, 河野良平: 梅摂取による食事能力への効果. 受託研究費(みなべ梅対策協議会), 2023.7.7-2024.3.15.

宇都宮洋才, 河野良平: 機能的医薬食品探索講座. 寄附講座(代表: 株式会社 トノハタ 他 4 社), 2022.8-2025.7

大阪・関西万博プレイベント「かいづか博覧会 2024」水なすに関する取組みの発表. 貝塚市「大阪・関西万博」参画推進協議会, 2024.10.19

未病専門指導師. 日本未病学会認定, 2024.1.1- 現在.

河野良平, 奥野祥治, 宇都宮洋才, 細川陽介: 焙煎ムクナ豆を有効成分とする α シヌクレイン凝集阻害剤. 特願 2024-184380, 2024.10.18.

馬屋原 邦博**■誌上発表**

馬屋原邦博, 和田英嗣, 塚本能三: 授業等で使用可能な模擬難聴装置の試作. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要, 18:29-33, 2024.

■口頭発表

Kenji Hiramoto, Takeshi Kamishima, Kunihiro Umayahara: Relationships of Individuals Having a Hospitalized Sibling in Middle or Old Age with Intellectual Disabilities in Connection with Their Families and Surroundings. 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress, Sapporo Convention Center, 2024.11.6-9.

Takeshi Kamishima, Kenji Hiramoto, Kunihiro Umayahara: A Literature Review on Social Isolation and Cognitive Functioning of the Elderly in Japan: Support by Occupational Therapists in the Post-Pandemic Phase. 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress, Sapporo Convention Center, 2024.11.6-9.

松尾加代, 和田英嗣, 高橋泰子, 馬屋原邦博, 上田有紀人, 塚本能三: 大学生の学校環境に対する適応感の促進について: 新入生における事例. 全国リハビリテーション学校協会第 37 回教育研究大会・教員研修会, 広島大学霞キャンパス, 広島, 2024.8.30-31.

和田英嗣, 馬屋原邦博: 言語聴覚療法における音声の周波数帯域の役割. 第 52 回 CRRC セミナー, 大阪河崎リハビリテーション大学, ハイブリッド開催, 2024.11.20.

■社会活動, その他

小平市手話通訳者養成講習会 中級クラス講演「聞こえのしくみ」. 小平市福祉会館, 2024.9.5

河野 良平

■誌上発表

Ryohei Kono, Haruki Fujihira, Yoshiharu Okuno, Hiroto Utsunomiya : Recombinant human neuroblastoma SH-SY5Y cells overexpressing α -synuclein form amyloid aggregates in seed-dependent and seed-independent manners. COGNITION & REHABILITATION, 5(1):9-17, 2024.

Masatoshi Takeda, Masayo Inoue, Ryohei Kono, Keigo Shiraiwa, Kayo Matsuo, Yuya Nakagoshi, Tatsuhiko Masuzawa, Yukito Ueda, Keiko Sakai : Health benefits of laughter and humor - Does simulated laughter have health benefits? COGNITION & REHABILITATION, 5(1):96-110, 2024.

河野良平, 奥野祥治, 高木沙也佳, 宇都宮洋才 : ムクナ豆 (*Mucuna pruriens*) 製品中に含まれるレボドパ量の比較. 日本未病学会雑誌, 29(3):10-17, 2023.

■口頭発表

奥野祥治, 藤岡美紅, 細川菜希, 宇都宮洋才, 河野良平 : ブドウ山椒由来 α -グルコシダーゼ阻害物質. 日本生薬学会第70回年会, 近畿大学東大阪キャンパス, 大阪, 2024.9.15-16.

河野良平, 藤平晴己, 奥野祥治, 宇都宮洋才 : 焙煎ムクナ豆はレビー小体型認知症原因タンパク質 α シヌクレインの神経細胞内凝集を抑制する. 第31回日本未病学会学術総会, 金沢医科大学北辰講堂橋ホール, 石川, 2024.11.2-3.

立石恒一郎, 加藤主税, 戸草内瑞生, 河野良平, 夏見宇菜, 竹腰進, 奥野祥治, 宇都宮洋才, 山本典生 : 梅抽出物の抗インフルエンザウイルス活性の評価と作用メカニズムの解析. 第71回日本ウイルス学会学術集会, ウィンクあいち, 愛知, 2024.11.4-6.

■社会活動, その他

化学. 大阪体育大学 体育学部, 2024.4.1-2025.3.31.

日本未病学会 評議員. 2023.4-現在.

宇都宮洋才, 河野良平 : 八升豆、八升豆抽出物、又は八升豆由来成分を有効成分とするパーキンソン病治療薬の研究開発. 株式会社 紀州ほそ川 共同研究費, 2023.8.1-2024.7.31.

宇都宮洋才, 河野良平 : 梅、梅抽出物、又は、梅由来成分を有効成分とするヒト不妊症治療剤の研究開発. 株式会社 紀州ほそ川 共同研究費, 2023.8.1-2024.7.31.

宇都宮洋才, 河野良平 : 梅及び梅抽出物に含有される抗ウイルス物質の探索と同定. 受託研究費(みなべ町長), 2023.7.7-2024.3.15.

宇都宮洋才, 河野良平 : 梅摂取による食事能力への効果. 受託研究費(みなべ梅対策協議会), 2023.7.7-2024.3.15.

宇都宮洋才, 河野良平 : 機能的医薬食品探索講座. 寄附講座(代表: 株式会社 トノハタ 他4社), 2022.8-2025.7.

大阪・関西万博プレイベント「かいづか博覧会2024」水なすに関する取組みの発表. 貝塚市「大阪・関西万博」参画推進協議会, 2024.10.19.

未病専門指導師. 日本未病学会認定, 2024.1.1-現在.

河野良平, 奥野祥治, 宇都宮洋才, 細川陽介 : 焙煎ムクナ豆を有効成分とする α シヌクレイン凝集阻害剤. 特願 2024-184380. 2024.10.18.

高橋 泰子

■口頭発表

高橋泰子, 松井菜々華 : 教育現場における ADHD 児の対応に関する意識調査. 大阪府言語聴覚士会学術大会, オンライン開催, 2024.2.25.

飯泉智子, 工藤絵梨果, 高橋泰子, 松原慶吾, 外山慶一, 星子隆裕, 吉村知佐子, 竹谷剛生, 内山千鶴子 : 養成校卒業時に求められる言語聴覚士のコンピテンシー - デルファイ法による抽出 -. 第25回日本言語聴覚学会, 神戸国際会議場, 兵庫, 2024.6.21-22.

工藤絵梨果, 高橋泰子, 飯泉智子, 松原慶吾, 外山慶一, 星子隆裕, 吉村知佐子, 竹谷剛生, 内山千鶴子 : 言語聴覚士養成における臨床実習前教育と評価(OSCE)に関する調査と活動報告. 第25回日本言語聴覚学会, 神戸国際会議場, 兵庫, 2024.6.21-22.

松尾加代, 和田英嗣, 高橋泰子, 馬屋原邦博, 上田有紀人, 塚本能三 : 大学生の学習環境に対する適応感の促進について - 新入生における事例. 一般社団法人全国リハビリテーション学校協会主催 第37回教育研究大会・教員研修会, 広島大学霞キャンパス, 広島, 2024.8.30-31.

名倉蒼夏羽, 高橋泰子: 色が読字に及ぼす影響. 第 11 回成人発達障害支援学会, 大阪国際交流センター, 大阪, 2024.9.7-8.

■社会活動, その他

知的障害・発達障害のアセスメントとケーススタディ. 和歌山大学大学院教育学研究科教職開発専攻・教職大学院, 2024.9.2, 4, 11, 18.

言語療法学. 大阪公立大学医学部リハビリテーション学科, 2024.11-2025.1.

一般社団法人 日本言語聴覚士協会 教育部 委員. OSCE 実施方法作成委員会 副委員長. 2022.10- 現在.

一般社団法人大阪府言語聴覚士会 理事, 職能部担当. 2024.6.1-2026.5.31.

大阪府堺市教育委員会 派遣専門職員. 2024.4-2025.3.

大阪府堺市教育委員会主催 夏季教員研修会講師 機能性構音障害の評価と指導. 2024.8.8.

大阪府豊能町教育委員会 巡回相談, 自立活動指導. 2024.4-2025.3.

大阪府豊能町教育委員会 特別支援教育会議 委員. 2024.4-2025.3.

WISC- V の分析と解釈. 大阪府豊能町教育委員会 特別支援教育部 教員研修, 2024.7.25.

貝塚市保健センター 言語発達相談. 2024.4-2025.3.

構音障害の評価と指導. 貝塚市教育委員会主催 教員研修講座, 2024.8.23.

臨床発達心理士 スーパーバイザー. 2023-2024.

学校に作業療法士を. 大阪河崎リハビリテーション大学子ども療育支援室主催, オンライン開催, 2024.3.9.

子どものバランス機能を向上させる. 貝塚市図書館・大阪河崎リハビリテーション大学子ども療育支援室共同開催, 貝塚図書館, 2024.7.22.

一般社団法人日本言語聴覚士協会主催 臨床実習指導者講習会 世話人. 2024.11.23-24.

塚本 能三

■誌上発表

塚本能三: 「離断症状群の評価とリハビリテーション」. 種村純, 種村留美 編集: 「高次脳機能障害リハビリテーションの掟」, 中外医学社, 東京, 402 頁, 2024.

■口頭発表

上田有紀人, 松田佳奈, 佐藤正之, 塚本能三, 田部井賢一, 安田竜太, 当麻直樹, 百崎良, 新堂晃大, 鈴木秀謙: 左中大脳動脈領域損傷により同時失認を呈した一例 頸動脈狭窄症に対するステント留置術による認知機能の継時的変化. 第 48 回日本高次脳機能学会, たま未来メッセ, 東京, 2024.11.8-9.

赤津花凜, 塚本能三, 今村和弘: 左中大脳動脈領域損傷により同時失認を呈した一例 - 5 か月間で改善に至った言語聴覚療法の経過について -. 第 48 回日本高次脳機能学会, たま未来メッセ, 東京, 2024.11.8-9.

青木健太, 塚本能三, 末本浩基: マイクでの発話誘導が奏功した超皮質性運動失語の 1 例 - 使用行動の関与について -. 第 48 回日本高次脳機能学会, たま未来メッセ, 東京, 2024.11.8-9.

■社会活動, その他

枚方市保健所 難病相談室 相談委員.

一般社団法人 日本リハビリテーション協会 教育評価機構 評価委員.

ネクサス問題作成委員.

白庭病院 症例検討会. 高次脳機能障害担当.

今村病院 リハビリテーション新人教育担当.

野村 和樹

■口頭発表

峰久京子, 岡健司, 野村和樹, 中村美砂: コロナ禍とポストコロナ期における医療系大学生の体組成と運動機能の比較検討. 第 11 回日本サルコペニア・フレイル学会大会, 都市センターホテル, 東京, 2024.11.2-3.

■社会活動, その他

峰久京子(代表), 中村美砂, 野村和樹, 岡健司, 今岡真和, 松尾加代: 小中学生の運動器の構造・機能的評価と効果的な運動介入の検討. 科学研究費 基盤研究(C), 2023-2025.

社会福祉. 箕面福祉保育専門学校.

子育て支援. 箕面福祉保育専門学校.

保健医療福祉論. 河崎会看護専門学校 第1学科.
生活科学. 河崎会看護専門学校 第1学科.
貝塚市社会教育委員. 2023.6-2024.5.

松尾 加代

■誌上発表

Kayo Matsuo: Examining the impact of a communication-focused intervention on promoting first-year college students' sense of adjustment to the school environment: a case study. COGNITION & REHABILITATION, 5(1):59-62.
Masatoshi Takeda, Masayo Inoue, Ryohei Kono, Keigo Shiraiwa, Kayo Matsuo, Yuya Nakagoshi, Tatsuhiko Masuzawa, Yukito Ueda, Keiko Sakai: Health benefits of laughter and humor - Does simulated laughter have health benefits? COGNITION & REHABILITATION, 5(1):96-110.

■口頭発表

Kayo Matsuo, Hiroshi Miura: Visualizers recall more eyewitness memory than verbalizers by drawing first. International Congress of Psychology, Praha, Czech, 2024.7.20-25.
Maki Takei, Kayo Matsuo: Factors influencing university students' study time for exams. International Congress of Psychology, Praha, Czech, 2024.7.20-25.
三浦大志, 松尾加代: 目撃者遂行型調査が人物同定に及ぼす影響. 日本認知心理学会第22回大会, 帝京大学八王子キャンパス, 東京, 2024.6.1-2.
松尾加代, 和田英嗣, 高橋泰子, 馬屋原邦博, 上田有紀人, 塚本能三: 大学生の学校環境に対する適応感の促進について: 新入生における事例. 全国リハビリテーション学校協会第37回教育研究大会・教員研修会, 広島大学霞キャンパス, 広島, 2024.8.30-31.
武井麻喜, 松尾加代, 堺景子, 田崎史江: アルコール依存症患者の再飲酒のリスク要因の検討 - 断酒生活を継続するための支援を考える -. 第58回日本作業療法学会, 札幌コンベンションセンター, 北海道, 2024.11.9-10.

■社会活動, その他

論文査読. COGNITION & REHABILITATION.
法と心理学会 理事.
法と心理学会 編集委員.

COGNITION&REHABILITATION Managing Editor.

峰久京子(代表), 中村美砂, 野村和樹, 岡健司, 今岡真和, 松尾加代: 小中学生の運動器の構造・機能的評価と効果的な運動介入の検討. 科学研究費 基盤研究(C), 2023-2025.

和田 英嗣

■誌上発表

和田英嗣: 皮質トームスの低下を伴った重度の求心性運動失語の一例. 臨床言語研究, 23, 2024.
馬屋原邦博, 和田英嗣, 塚本能三: 授業等で使用可能な模擬難聴装置の試作. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要, 18:29-33, 2024.
土井計樹, 土井真衣, 中本佳代子, 和田英嗣: 姿勢不良に伴う嚥下機能低下により誤嚥性肺炎を繰り返す症例に対して治療介入した1例 - 嚥下をよくするボールエクササイズを試み -. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要, 18:41-46, 2024.

■口頭発表

松尾加代, 和田英嗣, 高橋泰子, 馬屋原邦博, 上田有紀人, 塚本能三: 大学生の学校環境に対する適応感の促進について - 新入生における事例 -. 全国リハビリテーション学校協会 第37回教育研究大会・教員研修, 広島大学霞キャンパス, 広島, 2024.8.30-31.
和田英嗣: 皮質トームスの低下を伴った重度の求心性運動失語の一例. 第27回日本全体構造臨床言語(JIST)学術集会, 西日本総合展示場, 福岡, 2024.11.2-3.
和田英嗣, 馬屋原邦博: 言語聴覚療法における音声の周波数帯域の役割. 第52回 CRRC セミナー, 大阪河崎リハビリテーション大学, ハイブリッド開催, 2024.11.20.

■社会活動, その他

和田英嗣: コミュニケーションに役立つことばの仕組み. 枚方市赤十字奉仕団, 対面開催, 2024.3.7.

日本全体構造臨床言語学会 編集部門委員。

大阪府言語聴覚士会 構音分科会 運営委員。

大阪府言語聴覚士会 3 士会合同研修実行委員会 運営委員。

構音分科会勉強会「声と発話と顔面と。マルっとお話しパーキンソン病」。大阪府言語聴覚士会，オンライン開催，2024.1.23.

構音分科会勉強会「舌の機能と Praat を使ったフォルマントの測定」。大阪府言語聴覚士会，オンライン開催，2024.10.30.

構音分科会勉強会「今日から役立つ！舌の筋力訓練法のエビデンスとテクニック」。大阪府言語聴覚士会，オンライン開催，2024.12.16.

＜外来研究員＞

郡司 聖

■口頭発表

郡司聖：シンポジウム 8「森林環境の認知症予防効果を考える」森林環境下での認知症予防プログラムの提案。第 13 回 日本認知症予防学会学術集会，パシフィコ横浜，神奈川，2024.9.27-29.

郡司聖：森林環境と人間の生理機能。株式会社やまびこ社員研修，NPO 法人青梅林業研究グループ，東京都青梅市，2024.10.11.

郡司聖：森と人の営み。青梅市立霞台小学校森林体験教室，青梅市教育委員会，東京都青梅市，2024.10.25.

郡司聖：気づきと森林環境。青梅市森林環境教育指導者育成講座，青梅市教育委員会，東京都青梅市，2024.12.14.

郡司聖：森林整備におけるリスク管理－身体疲労と精神疲労－。青梅市森林整備技術者養成講座，青梅市農林水産課，2024.12.21.

■社会活動，その他

青梅親子森林体験教室。青梅市農林水産課，2024.8.10.

集まれ青梅っ子－きこりの巻－。青梅青少年委員会，2024.11.24.

松田 壮史

■誌上発表

大嶋伸雄，高橋章郎，芳賀大輔，松田壮史，大久保亮：会社員のうつ予防とリワーク・就労支援に必要な認知行動療法の活用：多職種連携で行う対象者の行動変容と健康行動の促進。日本認知療法・認知行動療法学会学会誌 認知療法研究，17(1):21-28, 2024.2.20

■口頭発表

松田壮史：企業におけるウェルビーイングの追求とサラリーマンのうつ病及び気分障害対策への課題。第 23 回釧路ニューロサイエンスワークショップ，北海道，2024.7.5.

■社会活動，その他

生活と経済。ヤマザキ動物看護大学 1 年，2023.9.6-2024.2.20.

生活と経済。ヤマザキ動物看護大学 1 年，2024.4.6-7.23.

情報危機管理論。ヤマザキ動物看護大学 4 年，2024.4.11-7.18.

日本の就職事情 2024。南台科技大学 在日本企業就職講座 4 年，2024.5.3.

人生 100 年 80 歳現役へのライフシフト超入門 冬期講座。東京都立大学オープンユニバーシティ，2024.3.

人生 100 年 80 歳現役へのライフシフト超入門 春期講座。東京都立大学オープンユニバーシティ，2024.6.

人生 100 年 80 歳現役へのライフシフト超入門 夏期講座。東京都立大学オープンユニバーシティ，2024.9.

人生 100 年 80 歳現役へのライフシフト超入門 秋期講座。東京都立大学オープンユニバーシティ，2024.11-12.

情報社会学会 監事。2024.7.15- 現在.

有末 伊織

■誌上発表

中俣恵美，有末伊織，中村達志，糸乗卓哉，峯林由梨佳，酒井菜美，筒井優：在宅脳卒中患者の機能維持・向上のための身体活動量の検討。関西福祉科学大学紀要，28:31-39, 2024.

由留木裕子, 有末伊織: ラベンダー精油の吸入が関節可動域と疼痛に及ぼす影響. 日本アロマセラピー学会誌, 23(1):16-23, 2024.

■口頭発表

Ayako Hisari, Naoko Takeuchi, Iori Arisue, KIM SUNGHYUN, Masaaki Yoneda: Unstable Subject's Characteristics of Center of Pressure Changes During the Transition from Bilateral to Unilateral. XXV Congress of International Society of Electrophysiology and Kinesiology (ISEK), Nagoya Congress Centre (NCC), Nagoya, Japan, 2024.6.26-29.

Iori Arisue, Yuto Konishi, Ayako Hisari, Naoko Takeuchi, Takeshi Fujinaga, Katsuya Tamaki, Atsushi Iwashita: Study of the floor pressing force with the hallux and metatarsals during walking for hallux valgus. XXV Congress of International Society of Electrophysiology and Kinesiology (ISEK), Nagoya Congress Centre (NCC), Nagoya, Japan, 2024.6.26-29.

Kana Eguchi, Iori Arisue: Investigation on Muscle Activation by Two-Channel Surface EMG during Voluntary Simulated Periodic Limb Movements: A Pilot Study Targeting Healthy Females. 生体医工学シンポジウム 2024, 東京大学本郷キャンパス, 東京, 2024.9.12-14.

島田尚哉, 有末伊織, 田中和樹, 中俣恵美, 中野真: 当院の回復期へ入退院した患者における疾患毎の身体活動量と FIM の傾向. 第 63 回近畿理学療法学会大会, 琵琶湖ホテル・大津市民会館, 滋賀, 2024.2.3-4.

有末伊織, 岩下篤司, 小西有人, 久利彩子, 竹内直子, 藤長武士: 外反母趾者の歩行における足趾で床を押す力ベクトルの研究～蹴り出しのタイミングの違い. 第 10 回南大阪リハビリテーションケア・学会, 馬場記念病院, 大阪, 2024.3.2.

田中和樹, 有末伊織, 中俣恵美, 中野真人: 当院回復期入棟患者の自宅復帰に関する要因 - 疾患別のカットオフ値の検討 -. 第 61 回日本リハビリテーション医学会学術集会, セルリアンタワー東急ホテル・渋谷エクセルホテル東急・渋谷ヒカリエ・渋谷区文化総合センター大和田, 東京, 2024.6.13-16.

久利彩子, 竹内直子, 有末伊織, KIM SUNGHYUN, 米田正明: 健常者と片脚立位困難者における左右 COP と遊脚側外果位置の変化時点の解析. 第 61 回日本リハビリテーション医学会学術集会, セルリアンタワー東急ホテル・渋谷エクセルホテル東急・渋谷ヒカリエ・渋谷区文化総合センター大和田, 東京, 2024.6.13-16.

中俣恵美, 有末伊織, 岡本加世子, 西井正樹, 出田めぐみ: 軽度認知症 (MCI) 患者への適切な対応に関する理解度調査～属性の違いにおける検討～. 第 6 回日本在宅医療連合学会大会, 幕張メッセ 国際会議場, 千葉, 2024.7.20-21.

萩岡裕, 清水恒良, 有末伊織: 封入体筋炎に対する運動負荷量の設定と筋力の推移について検討した一症例. 第 22 回日本神経理学療法学会学術大会, 福岡国際会議場, 福岡, 2024.9.28-29.

澤井啓耀, 有末伊織, 中尾章吾, 清水恒良: 脳卒中患者に対する下腿三頭筋の筋力増強練習が Buckling Knee Pattern の改善に有効であった 2 症例. 第 22 回日本神経理学療法学会学術大会, 福岡国際会議場, 福岡, 2024.9.28-29.

久利彩子, 中田典生, 有末伊織, 武井健一, 中川竜之介, 米田正明: 動画を用いた基本動作時間の自動算出と人の算出結果との関連性について. 第 8 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 岡山コンベンションセンター, 岡山, 2024.11.1-3.

中田典生, 久利彩子, 竹内直子, 有末伊織, 中川竜之介, KIM SUNGHYUN, 米田正明: Short Physical Performance Battery の動画像からの自動計測システムの開発. 第 11 回日本サルコペニア・フレイル学会大会, 都市センターホテル, 東京, 2024.11.2-3.

馬場若菜, 増原悠斗, 有末伊織, 中俣恵美: 軽度認知症 (MCI) 患者への介入方法に関する認知度調査 - MCI 患者への適切な介入方法の確立に向けて -. 第 11 回日本地域理学療法学会学術大会, 高槻城公園芸術文化劇場, 大阪, 2024.11.16-17.

久利彩子, 中川竜之介, 岡健司, 有末伊織, 米田正明, 武井健一, 中田典生: 起立・着座・歩行の動画から 3D 姿勢推定 AI を用いて推定した座標とマーカーを利用した動作解析ソフトにより計測した座標の関連性評価. 第 45 回バイオメカニズム学術講演会, 電気通信大学, 東京, 2024.12.7-8.

■社会活動, その他

八尾市・柏原市理学療法士会「士会主催研修会」運営, 関西福祉科学大学, 2024.6.2.

八尾市・柏原市理学療法士会「士会主催研修会」運営, オンライン開催, 2024.2.1, 11.21.

貝塚市山手地区公民館祭り「あなたの“つまずきやすさ”を評価します」. 貝塚市山手地区公民館, 2024.10.20.

第 10 回南大阪リハビリテーションケア・学会 優秀演題賞.